



11 2014 NOVEMBER

あなたと町を結ぶ広報

# なみえ



ホームページやフェイスブックは、  
携帯からもご覧いただけます。  
QRコードをご利用ください。

平成26年11月 No.586

毎月1回1日発行

- 2 町長インタビュー
- 5 住民意向調査結果
- 9 みんなでともに乗り越えよう
- 12 平成25年度決算・職員給与公表
- 16 保健だより・いつかためになる法律知識
- 18 タブレット端末配布事業
- 20 応援職員に聞く
- 22 浪江町復興支援職員通信
- 23 まちの話題・みんなの図書館
- 27 情報びっくあっぷ
- 34 浪江のこころ通信
- 40 連絡先一覧

今月の表紙

B-1グランプリ in 郡山 ~東北・福島応援特別大会~ (10月18・19日 郡山市開成山公園ほか)



# 避難指示解除と その先にあるもの — 馬場有町長にきく 「浪江のこれから」



東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から3年半。今年度から浪江町は「復旧実現期」に入っています。除染や災害廃棄物の処理が本格的に始まり、道路や上下水道の修繕が進むなど、復旧が少しずつ「目に見える」形になってきています。避難指示解除に向けて、その歩みをどうやって加速するか。また、指示解除の先を見据えた浪江町の「これから」について、町長の考えを聞きました。

(聞き手：復興推進課)

## 解除時期は 1年前を めどに判断

——避難指示解除が想定される平成29年3月まであと2年半。解除の判断はいつ頃行いますか？

今年から帰還困難区域を除く地域で本格的な除染が始まりましたが、実施率はまだ1割に届きません。平成27年度末までに完了という国の計画には、最初から無理があったと思います。

除染が終わって初めて、インフラや生活基盤の復旧が始まるわけですから、平成29年3月に間に合うかどうか、今は何とも言えません。その判断は1年前を目処に行うことになるでしょう。

その時点での復旧の進捗によっては、解除時期の延期は当然あります。また、全町一斉ではなく、段階的な解除となる可能性もあります。

——いずれにしても、避難指示解除は「戻りなさい」ではない。居住

の自由は基本的人権ですから、解除を検討する際にはそこも丁寧に説明する必要があると思います。

——避難指示解除要件としての放射線量はどうか考えますか？

年間の追加被ばく線量1ミリシーベルトが理想という考え方に変わりありません。しかし、他にもいろいろな数字が挙がっています。たとえば放射線管理区域の設定基準をもとに、5ミリシーベルトまで許容できるという医療関係者の意見もあります。もっと幅広い知見を集めて、政府がきちんと公式見解としての数値を示すべきです。

浪江町としては、その数値をもとに、独自の専門家委員会を設けるなどして各方面の意見を聞き、最終的に判断することになるでしょう。

しかし、長期的にはあくまでも1ミリシーベルトが理想であり、これは帰還困難区域も含めてのことです。たとえ時間がかかっても、その長期目標に向けて国には除染を求めていきます。

——今年8月の住民意向調査では、「帰るつもりはない」が前回より10ポイント増えて約半数となりました。

時間が経つほど、残念ながらこういう結果になるのは当然と感じます。町民の皆さんからは、「遅い。もう家を買ってしまった。今さら公営住宅のアンケートなんて」という声も聞かれます。

重視したいのは、「判断がつかない」方々が1割減ってしまったこと。判断がつかないのは、帰りたい気持ちがあるからでしょう。そういう人たちのために、もっと早く公営住宅を用意したい。公営住宅は、帰れるまでの「つなぎ」となるからです。

一方、家を建てた、買ったという方でも、その家が「つなぎ」という位置づけの場合もあるかもしれません。20年後、30年後に帰ってくる、あるいは自分は帰らなくてもお墓は浪江、という人もいます。

「帰らないつもり」の人も含めて、「縁は切りたくない」「本当は帰れるものなら帰りたい」という気持ちは、みな同じはず。復興

後の町の姿がもう少し具体的に見えてくれば、浪江への帰属意識も復活してくるのではないのでしょうか。だから、その姿を早く見せたいと考えています。

——「つなぎ」の復興公営住宅を核とした「町外コミュニティ」は、どのように維持しますか？

復興計画で「町外コミュニティ」という言葉を使いましたが、復興公営住宅の建設地がかなり分散している現状を考えると、医療施設や教育施設などハード面で「コミュニティ」を実現することは、かなり厳しいと思います。生活インフラについては、避難先の既存の施設を自由に利用できるほうが便利な場合が多いでしょう。

むしろ、心理的なコミュニティの絆を、どうつないでいくかが重要です。場所を決めてそこに集めるというよりも、復興支援員がバラバラになった町民の中に入りこみ、心をつないでいく。また、タブレット端末のような情報技術も駆使して、「浪江のこころ」のコミュニティを維持していきたいと考えます。

## 「これなら 帰れる」 町をつくる

——一足先に避難指示を解除した他町村のケースから、学べることはありますか？

生活インフラの整備が中途半端では、帰還人口の確保は難しいということでしょう。たとえば、町にお医者さんが一人しかいなければ、大きな病院に近い避難先のほうが安心と思うはずです。二次医療が必要になったとき、せめて隣町にいれば複数の診療科があるというような状態にならないければ、安心して帰れません。

産業面では、双葉郡内の他町村と比べ、地理的条件や人的資源に恵まれた浪江の雇用創出のポテンシャルは相対的に高いはずですから、浪江ならではの復興の姿を目指す必要があると考えます。

——具体的には、どんな町づくりを進めますか？

医療面については、医療機関を公設にしてそこで診療してくれるお医者さんの確保を進めます。このたび、仮設津島診療所の2人目の常勤医として着任した峰廻先生は、北海道から来てくださいました。こうした外から支援に入ってくださいる方や、以前に町内で開業していた先生方も含めて医療従事者を確保し、町内の医療体制を整えていきます。

産業誘致では大きく3つ。1つは、以前から掲げていますが、地震・津波・原発事故という複合災害をテーマにした産官学連携の研究施設です。これはイノベーションコースト構想にも入っていますので、積極的に関与していきたい考えです。

2つ目は農業。農業法人などの力も借りて営農再開を進めたい。放射能が問題なら、観賞用や花卉など非食用の農産物、バイオマスなども可能性があります。そして3つ目は太陽光発電です。太陽光を進めれば必ず蓄電池が必要になります。蓄電池産業を誘致すれば雇用も生まれます。

# 住民意向調査 速報版 集計結果

## 調査の概要

- 実施主体 復興庁・福島県・浪江町
- 調査対象 世帯の代表者 9,749世帯
- 調査時期 平成26年8月8日～22日
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 回収数 5,796世帯
- 回収率 59.5%(前回:63.5%)

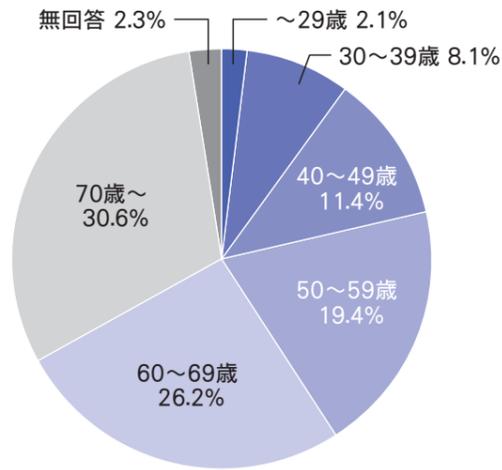
平成26年8月に実施しました住民意向調査にご協力いただき、ありがとうございました。

平成26年10月17日に復興大臣から公表された集計結果【速報版】を一部抜粋してお知らせします。なお、集計結果【速報版】の全データは町ホームページからご覧いただけます。

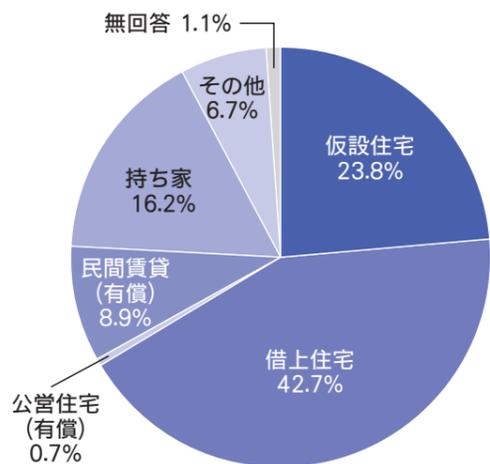
※最終報告については、平成26年度内に復興庁から公表される予定です。公表され次第お示しします。

問 復興推進課 TEL 0243(62)4731

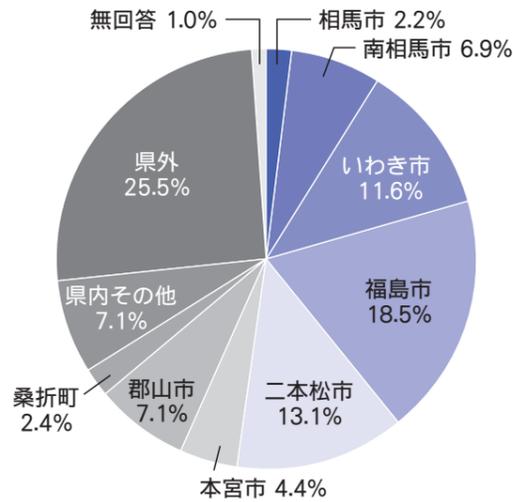
### 1 回答者年代(5,796世帯中)



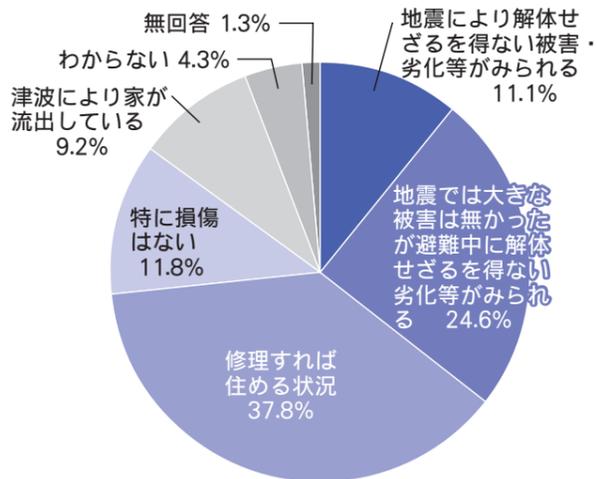
### 3 現在の居住形態(5,796世帯中)



### 2 避難先自治体(5,796世帯中)



### 4 現在の住宅の状況(町内) (震災発生当時 持ち家4,507世帯中)



避難指示解除と  
その先にあるもの—  
馬場有町長にきく  
「浪江のこれから」

「若者に帰ってきてもらいたくても、雇用の確保は必須ですね。町内で営業していた企業にとつて、一度壊された生産基盤や資本、市場を元に戻すのは大変なことであり、帰ってきてもらうのは難しいのが現実です。雇用の場づくりとしては、これまでにない新しい産業も創出していかなければなりません。こういう事態を招いたのは国です。産業界にはまず国の積極的な関与を求めたい。進出する企業に対しての大胆なインセンティブ、具体的には思いきった優遇税制などを整備してほしいと訴えています。

また私は、震災後の早い段階から、町の再生には公設民営の形しかないと考えていました。たとえば町が農業法人をつくり、土地と設備を用意して、意欲のある個人や会社に貸し出す。公がハードを用意して民が運営を担う形を基本に考えれば、さまざまな事業の立ち上げが可能と考えます。

こうした以前の町にはなかったものを提供してあげば、若い人たちも「浪江で一旗あげよう」と思ってくれるかもしれません。職員から

も町民の皆さんからも、どんなアイデアを出していただきたいと思っています。

**町の存続には二重住民登録の制度整備を**

「避難指示解除直後の帰還人口の想定は5千人です。町は成り立ちますか？」

それは20年後の町政を、今から考えねばならないということです。町政は地方交付税がなければ成り立ちません。全町避難中の現在は、震災前人口に基づいた金額が交付されていますが、いずれ見直される時がくるでしょう。そのとき、5千人ベースに減額されれば終わりです。

20年後に浪江に戻ってくる人たちのためにも、町は存続しなければならぬ。存続のためには一定数の「町民」、すなわち住民登録を確保しなければなりません。ですから、「二重住民登録」を可能にする

る法律制度整備を求めたいと思います。

現在の事務取扱の特例のような短期的なものではなく、廃炉完了までの40年といったスパンで、避難先と浪江町と両方で住民登録を可能にする制度が必要です。納税義務、選挙権など解決すべき課題はたくさんありますが、方法はあります。

「これまで浪江からの転出人口は2千人弱です。これら「元町民」の方々への支援とは？」

転出した人の中には、もう浪江からは何の情報も案内も受け取りたくない、という方もいるでしょう。そうした方は、町としては残念ですが、新天地の住民として今後の人生を充実させていただきたいと思っています。

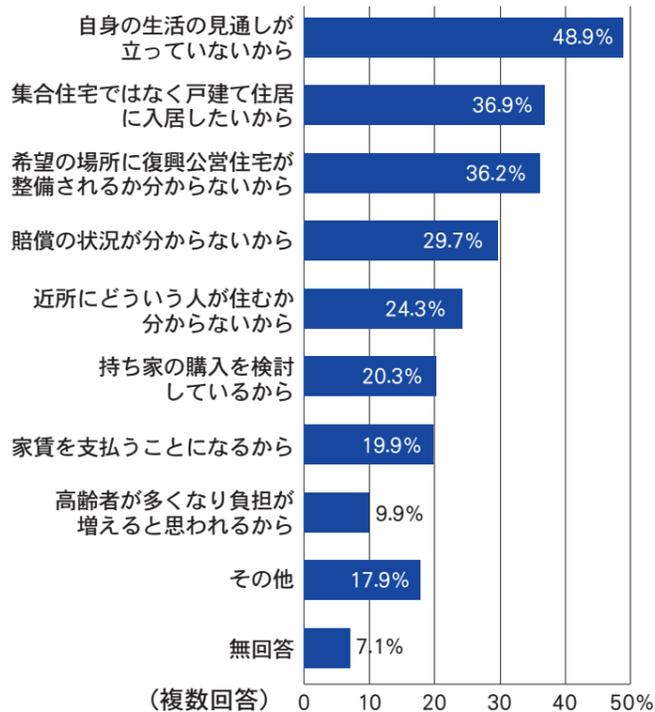
しかし、様々な理由で転出はしても、浪江と縁を切りたくないという方も少なくありません。中通りに二世帯住宅を建て息子夫婦と同居しているが、孫が社会人になったら浪江に帰る、という人。他県で仕事に就いたが、定年退職したら帰りたいという人。アンケートでは「帰らないつもり」と答えたかもしれませんが

「どんな町の姿を発信していきますか？」

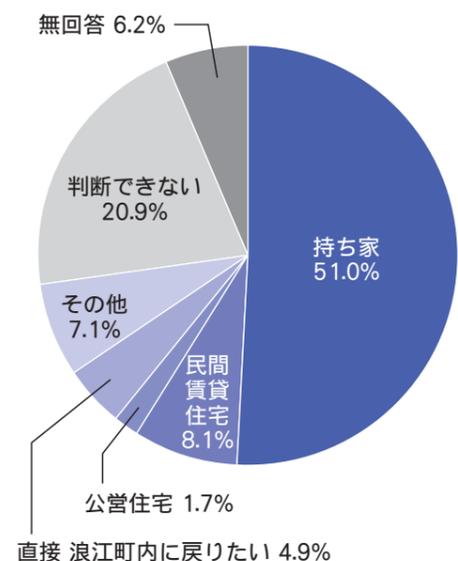
皆で知恵を絞って、町の特徴を出していかなければなりません。日本全国を見渡せば、参考になる例は見つかるはずですが、外部からの支援はもちろん必要ですが、「なんだ、普通の町じゃないか」と思われたら、だれも来てくれない。人の心をひきつけるような、町の特徴・方向性を明確にすることが重要だと考えます。

そのためには、奇想天外な発想も必要かもしれません。以前、ポケモンを生み出した会社の事務所を訪ねたことがあります。オフィスそのものも自由な発想で作られており、こういうところからアイデアが生まれるのだなと感じました。簡単ではないでしょうが、浪江の将来のために既成概念の殻を破る大胆な発想を追求していきたいと思っています。

8 判断できない理由  
(⑤「判断できない」1,477世帯中)

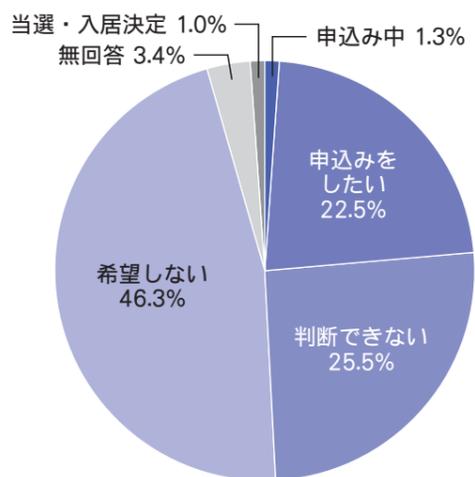


9 入居を希望しない方の住居希望  
(⑤「判断できない」「希望しない」4,163世帯中)

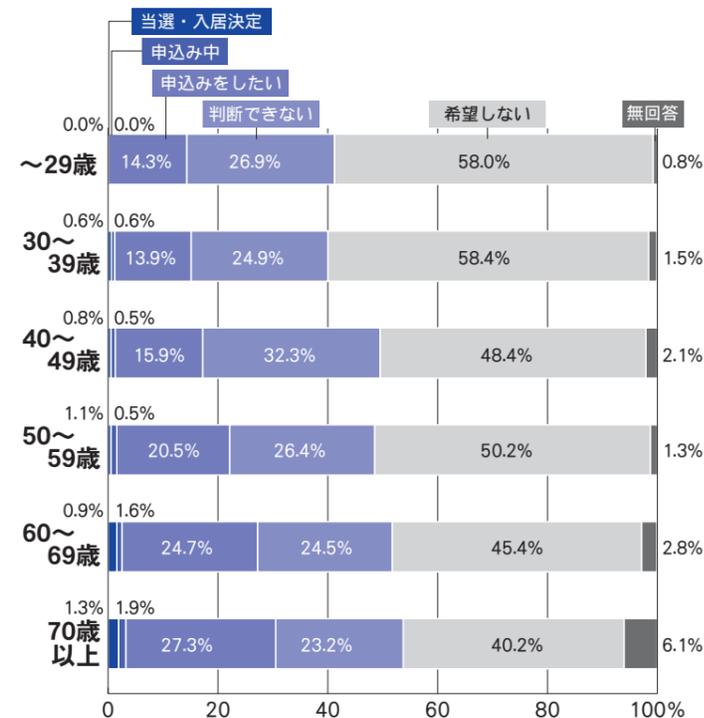


復興公営住宅について

5 復興公営住宅入居希望状況(5,796世帯中)

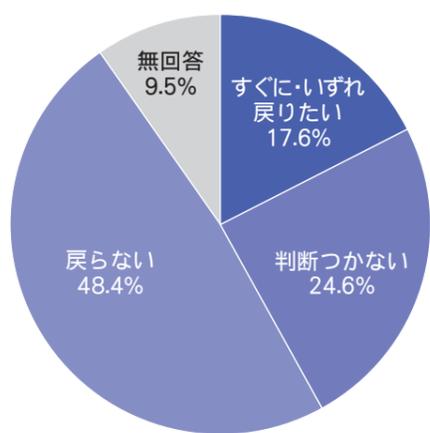


復興公営住宅入居希望状況(年代別)

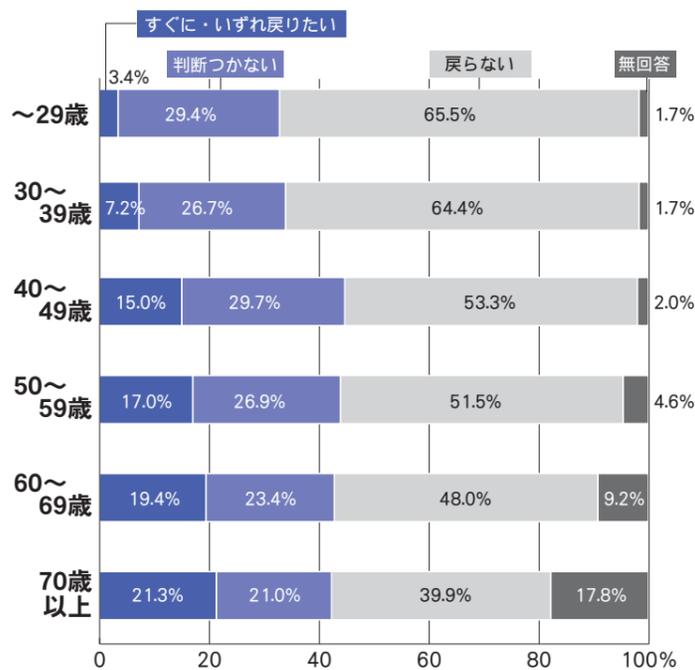


帰還意向について

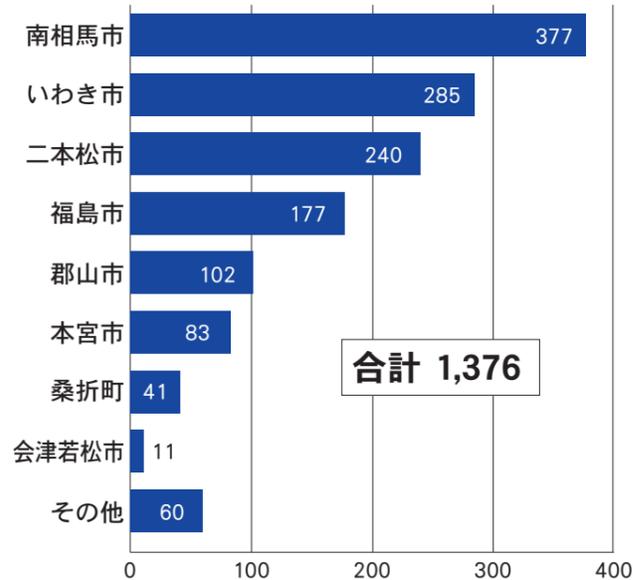
10 帰還の意向(5,796世帯中)



帰還の意向(年代別)

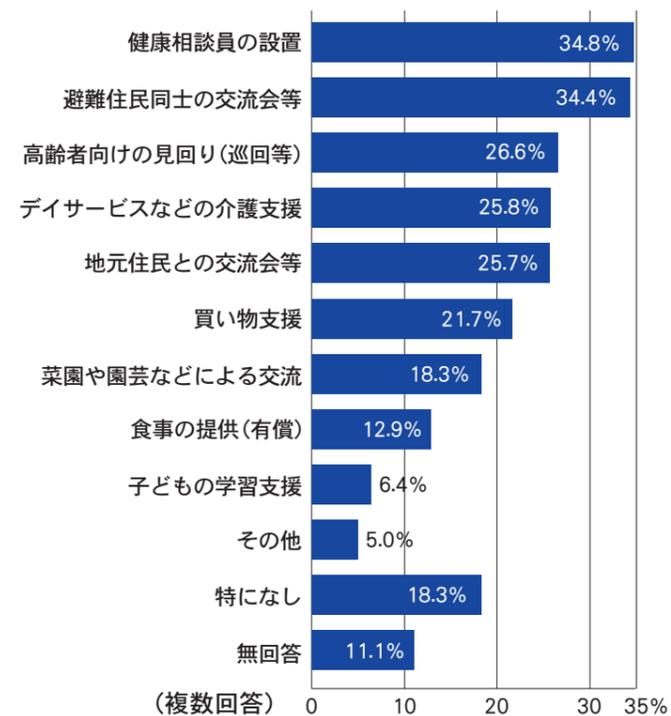


6 入居を希望する自治体  
(⑤「当選・入居決定」「申し込み中」「申し込みをしたい」1,438世帯中)



※住居分離を希望する2世帯目を併せて集計したもの。

7 入居する場合に利用するサービス  
(⑤「当選・入居決定」「申し込み中」「申し込みをしたい」「判断できない」2,915世帯中)



# みんなで ともに 乗り越えよう

## 「第2回事業再開検討委員会」が開催されました

9月17日、「第2回事業再開検討委員会」が開催されました。今回の委員会では、事業再開の議論を深めていくために、浪江町以外の場所での事業再開が難しい「商業部会」と「サービス業部会」の412会員を対象に行った意向調査の結果報告と、再開している会員事業者による事例発表が行われました。

まず、意向調査の結果からは、以下のようなことがわかりました。

- 回答が71会員（回答率17.2%）と低調であった。
- 現在再開していないが再開を希望する事業者は18会員であった。
- 再開をする場所としては、浪江町内を望む方が多い傾向であった。
- 居住地の決定に併せて自らの事業を再開する意向を持つ方も複数いた。

続く再開事業者による事例発表では、以下のような情報が共有されました。

- 再開したもの、やはり小売業は厳しい印象。自分たちが地域に根差して事業をやっていたように、避難先でも当然、地域密着で小売業者は商売している。
- 利活用した支援制度としては、企業立地補助金、グループ補助金、雇用および各種融資制度など。再開するうえで有効ではあった反面、原発事故により多大なハンデを背負いながらの再開にあっては、十分な補助事業ではないという意見もあった。
- 震災前の売り上げに戻すべく営業活動を継続してい

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

- が、未だに戻らない。浪江の企業であることで、理不尽な扱いや不当な扱いを受けたこともある。
- 中通りでは、浪江と違い雇用の流動性がある。避難先での従業員確保は一貫して大きな課題となっている。
  - 従来の商売での再開が難しくとも、浪江町の再生のためには、商工会会員の実施事業を組み合わせ、浪江町内で新たな産業や雇用を生み出していく、といったことも必要である。

その後の意見交換では、小売業やサービス業を取り巻く現状は厳しくとも、引き続き、町内外での再開に向け検討を深めていくことを確認しました。

【参考】浪江町商工会会員 業種別事業再開数（平成26年9月1日現在）

業種	会員数	再開数	再開率
卸売業	19	5	26.3%
小売業	158	33	20.9%
サービス業	119	44	37.0%
飲食業	94	17	18.1%
建設業	128	71	55.5%
製造業	72	27	37.5%
石材業・その他	37	20	54.1%
合計	627	217	34.6%

問 産業・賠償対策課商工労働係  
TEL 0243 (62) 1106

## 被災船舶の解体撤去が始まります

環境省による、津波被災区域の被災船舶の解体撤去工事が始まります。

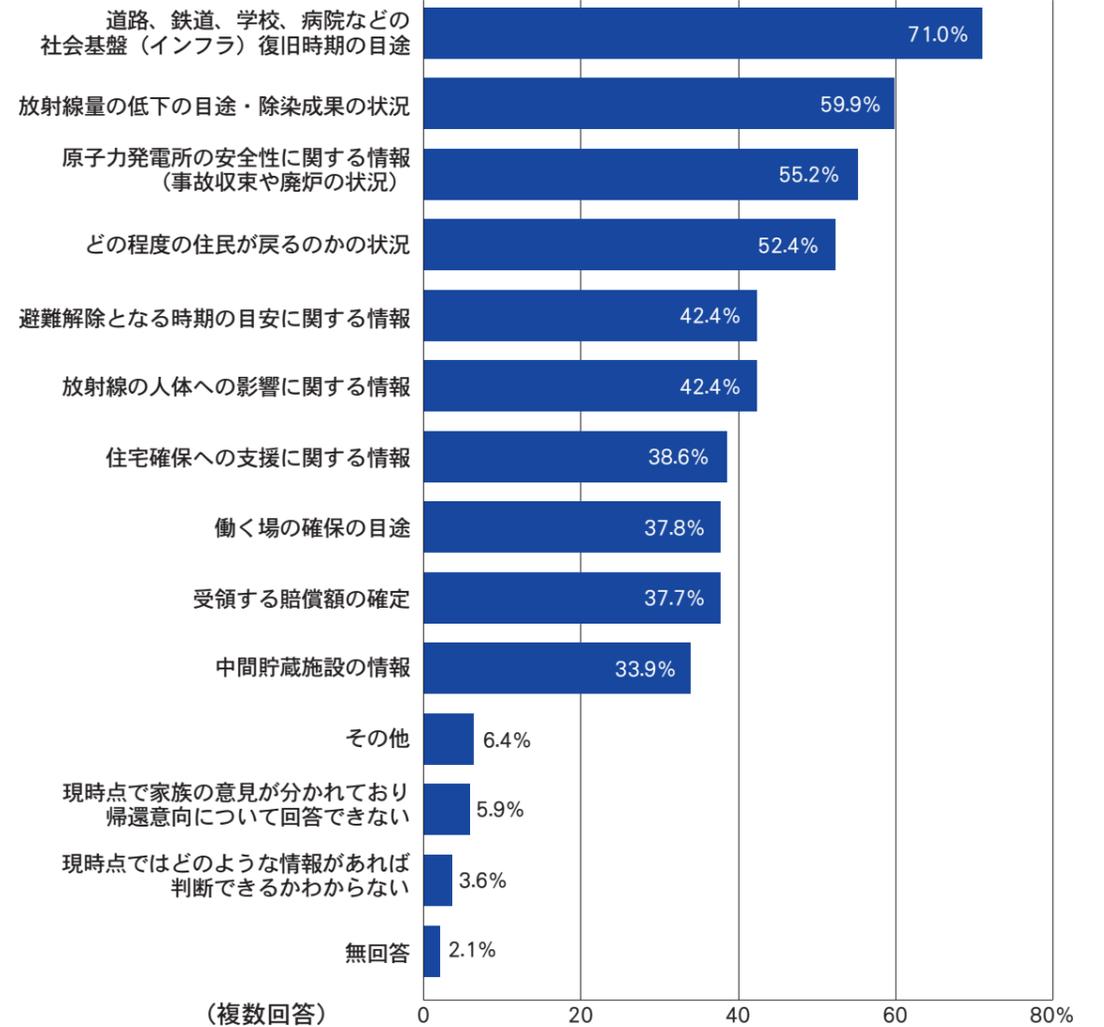
- 工事名 平成26年度対策地域内における被災船舶解体撤去工事
- 期間 平成26年11月4日～平成27年3月27日
- 解体撤去船舶数 63艘
- 工事施工位置 大字請戸、中浜地内（現地で被災船舶を解体します）
- 施工業者 横山建設株式会社（環境省委託事業者）
- 工事に関するお問い合わせ

環境省福島環境再生事務所浜通り北支所（廃棄物担当）  
TEL 0244 (26) 9912（午前9時～午後4時、土日祝日は除く）

問 ふるさと再生課廃棄物対策係 TEL 0240 (34) 0230

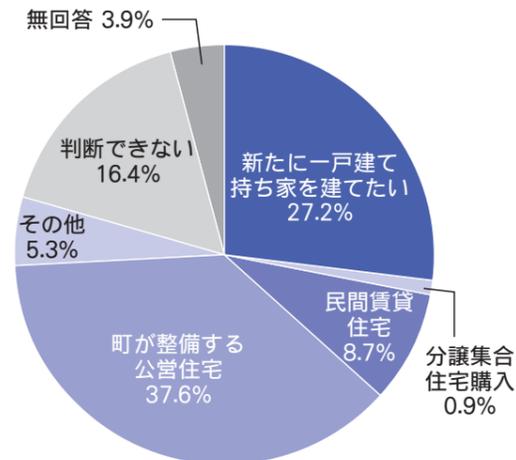
## 住民意向調査集計結果 速報版

### 11 判断する上で必要な情報（⑩「現時点でまだ判断がつかない」1,423世帯中）



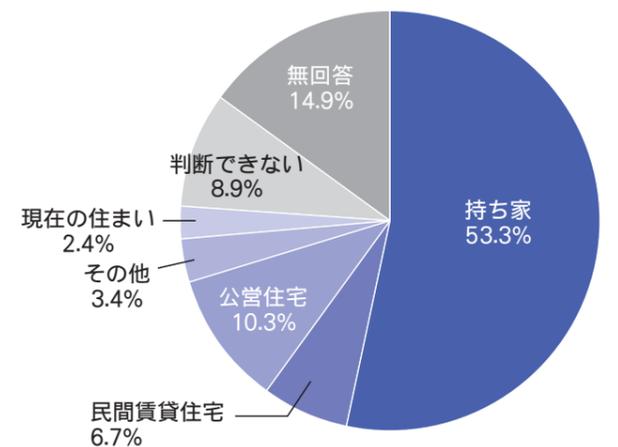
### 12 帰還した場合に希望する住居

（⑩「すぐにいずれ戻りたい」の内「震災前に住んでいた行政区とは別の場所に戻ってもよい」585世帯中）



### 13 帰還しない方の住居希望

（⑩「判断がつかない」「戻らない」5,037世帯中）





コンバインで稲刈りする松本さん



コンバインで稲刈りする半谷さん

## 町の農業再生に向けて

### 笑顔で収穫、 待望の稲刈り

10月4日、浪江町酒田地区で実証栽培されていた農地で、稲刈りを行いました。5月16日の田植えから約5か月が経ち、天候に恵まれ大きく実った稲は、この日も黄金色に輝いていました。稲刈りには、農業者を中心に

地元の酒田農事復興組合、農業・農地を考える会、東北農政局、福島県や関係機関が参加したほか、環境省から望月大臣、小里副大臣、福山政務官が応援に駆けつけ、盛大に行われました。稲刈りスタートの合図で、参加者は片手に鎌を持ち、一斉に松本さんの農地(約0.6ha、「コシヒカリ」)へ。刈り取られた稲わらの良い匂いが広がると、会場は

笑顔にあふれ、皆が収穫の喜びを分かち合いました。わが子を見るように稲を眺め、笑みがこぼれる松本さんは、「収穫を迎えられて感無量。本格的な水稲栽培の再開はまだ難しいが、将来のためにこの田んぼを管理したい」と今後の意気込みを語りました。また別の農地で実証栽培している半谷さん(約0.6ha、福島県推奨「天のつぶ」)は、10月8日に稲刈りを行いました。6日の台風の被害を懸念していましたが、幸い稲に影響はなく、無事に収穫を



喜びの握手  
(左から 松本さん、望月大臣、馬場町長、小里副大臣)



手刈りする  
馬場町長

産業・賠償対策課農林水産係 TEL0243(62)1107

迎えることができました。半谷さんは収穫した稲穂を手に取りながら「やっぱり農業は楽しい」と笑顔で語りました。今回、水稲実証栽培したお二人の農地からは約6tの米が収穫されました。米は出荷せず、全量全袋検査の後、基準値以下であれば、この実証栽培を支援してくださった方々に贈る予定です。

将来の営農再開に向け動き出した水稲実証栽培は、農地除染後の不安もありましたが、農業者や農事復興組合のご協力のもと、また関係機関によるご指導ご支援のおかげで無事に稲の収穫を迎えることができました。今回の稲刈りは、浪江町のふるさと再生に向けた、大きな一歩となりました。

## 上下水道の復旧状況をお知らせします

東日本大震災で大きな被害を受けた、町内の上下水道の復旧を進めています。立入りの際は、道路の陥没や復旧作業現場、工事車両に十分ご注意ください。現在の復旧状況は以下の通りです。

### ■上水道

水道管の漏水調査を進めており、被災箇所の修繕工事を行っています。現在までに、消防用水利を中心に、全体の3割を復旧しました。平成28年度内にすべての配水管を復旧する予定です。毎月、水源(地下水)を検査していますが、放射性物質は検出されていません。今後も引き続き検査を行っていきます。

### ■下水道

平成27年度末までに北幾世橋にある浪江浄化センターの復旧を行います。下水道管の復旧は、国道6号から東側は平成26年度、国道6号と新町通りの間は平成27年度、新町通りと常磐線の間は平成28年度の完了を目指しています。それ以外の地区も今後復旧作業を開始します。

### ■農業集落排水

平成26年度末までに高瀬浄化センターの復旧を行います。下水道管は平成27年度に復旧予定です。



復興事業課上下水道係 TEL0240(34)0234

## 「土耕ん醸」、復活への第一歩!

山形県長井市で営業を再開した鈴木酒造店(株)。同店が福島県内で始めた新たな取り組みを紹介します。今年5月、同店は福島市松川の契約農家と酒造好適米「五百万石」の栽培を始め、9月に稲刈りを行いました。収穫米は今後、震災前に製造販売していた「土耕ん醸」というお酒にするそうです。他地域と比べ放射性物質に対する厳しい基準や風評被害がある中、同店が敢えて福島県産米にこだわったのは、ふるさとへの想いがあるため、今も来年秋の販売に向けた準備を続けています。

### ● 鈴木酒造店 鈴木大介専務の話 ●

私たちは今年9月、福島市松川の圃場で、酒造好適米「五百万石」を、田植えから関わっていただいている全国の支援者と共に、手刈りでにぎやかにを行いました。

支援者(主に「壽」の販売店)の方々は、田植えの後も時折圃場に来て、成長を見守ってくださっていました。当初は、福島のことを少しでも知っていただこうとお声掛けした方々が、福島のよき理解者となってくださったことが嬉しく、今後とも活動を継続していこうという気持ちになっています。

ちなみに、「土耕ん醸」という銘柄は、震災前も作っていましたが、もともと地元浪江の五百万石を使うことが約束のお酒でしたので、最低でも福島県産米を使うことを目標にしました。

栽培農家さんとは3年かけて実証を繰り返してきましたが、今回が本品種、震災後初めての刈取りとなります。福島県酒造組合が国より厳しい自主基準(10べ

クレル未満/kg:全袋検査)を設けたため、この農家さんの圃場はグレーゾーンとなり、これまで主力だった酒米の作付けができなくなりました。それでも震災2年目より土壌分析を行いながら栽培の工夫を重ね、全袋検査等の厳しい基準をクリアする体制を整えて、ようやく今年、作付けを迎えたのです。

全国の支援者、福島農家さん、そして我々鈴木酒造店、たくさんの想いと「ど根性」を込めたお酒を作っています。来秋の販売を、どうぞ楽しみにお待ちください。



# 平成25年度 浪江町歳入歳出決算 審査意見書 (抜粋)

## 1 審査の対象

一般会計歳入歳出決算書、文化及びスポーツ振興育成事業特別会計歳入歳出決算書ほか9特別会計、水道事業会計決算

## 2 審査の期間

平成26年7月24日～  
平成26年8月4日

## 3 審査の方法

審査に付された決算書等に基づき、各課により整理された関係書類の提出、閲覧を求めるとともに、必要に応じて関係職員の説明を聴取し、例月出納検査結果も参考として、計数の確認照合を行い、かつ予算の執行状況について審査を行った。

## 4 審査の結果

一般会計をはじめ特別会計の審査に付された決算書等による決算は、関係法令に準拠して作成され、掲げられている計数は、関係書類といずれも符合し正確なことが認められた。

平成25年度は、東日本大震災およびこれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故の影響による災害復旧・復興に係る業務に時間を費やし、通常業務との両立が困難であった。このような状態の中、前年に引き続き歳入予算は自主財源が厳しい状態にあり、歳出予算では浪江町防災行政無線災害復旧工事や請戸共同墓地整備事業などに着手し、本格復旧に向け調査費等を執行した。

# 特別会計

会計名	歳入決算	歳出決算	差引残額
文化及びスポーツ振興育成事業	121万2千円	108万1千円	13万1千円
国民健康保険事業	55億4,722万5千円	48億3,501万8千円	7億1,220万7千円
国民健康保険直営診療施設事業	2億8,178万5千円	2億1,659万8千円	6,518万7千円
公共下水道事業	6億6,845万5千円	6億6,178万1千円	667万4千円
工業団地造成事業	603万8千円	0円	603万8千円
農業集落排水事業	8,891万5千円	8,800万1千円	91万4千円
介護保険事業	26億3,764万1千円	23億3,299万6千円	3億464万5千円
後期高齢者医療	6,092万5千円	5,859万8千円	232万7千円
財産区管理事業	561万1千円	23万7千円	537万4千円

上水道	収益的収入		収益的支出	
	5億1,857万3千円	1億7,999万2千円	資本的収入	資本的支出
	1億4,590万円	2億3,363万3千円		

# 翌年度以降財政負担額

## ① 地方債

会計名	H24末残高	H25借入額	H25償還額	H25末残高
一般会計	56億261万9千円	3億9,147万円	5億9,806万7千円	53億9,602万2千円
公共下水道	36億9,984万8千円	9,920万円	3億4,290万2千円	34億5,614万6千円
農業集落排水	2億119万5千円	5,750万円	7,342万6千円	1億8,526万9千円
上水道	11億5,823万7千円	1億4,590万円	2億3,363万3千円	10億7,050万4千円
計	106億6,189万9千円	6億9,407万円	12億4,802万8千円	101億794万1千円

## ② 債務負担行為残高

債務負担行為限度額	H25増減額	H26以降支出予定額
11億6,521万9千円	1億7,940万2千円	3億4,505万1千円

# 財政健全化判断比率および公営企業資金不足比率

	H25	H24	増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	14.5	14.4	0.1	25.0	35.0

\* 実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率、将来負担比率については算出されませんでした。

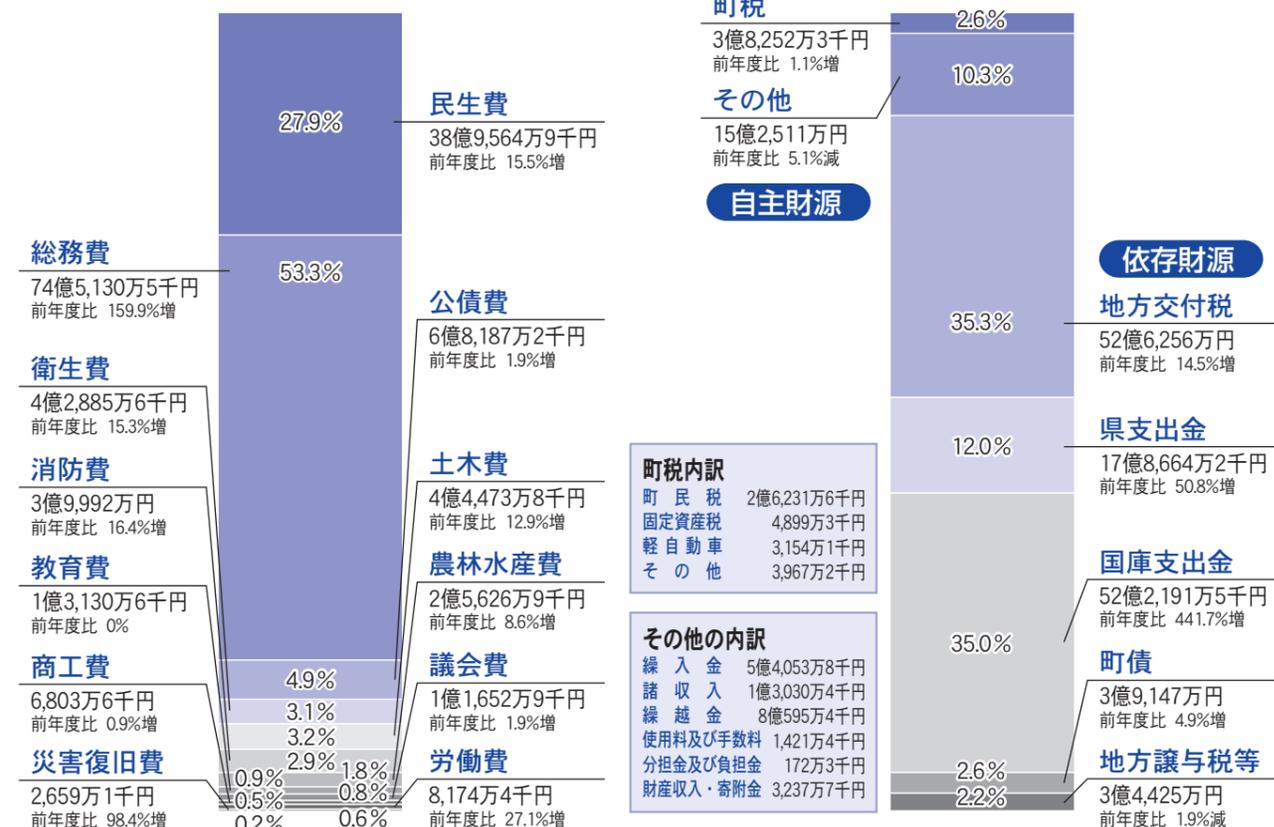
# 平成25年度 決算

平成25年度の決算は、昨年度に引き続き全町避難が続くなか、避難生活に対する支援、および町内の復旧・復興へ向けた各種事業が中心となりました。  
その概要をお知らせします。

☎ 総務課財政管財係 ☎ 0243(62)0123 (代表)

歳出 139億8,281万5千円  
(前年比 61.7%増)

歳入 149億1,447万円  
(前年比 57.8%増)



# 平成26年度上半期予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	149億2,325万6千円	51億3,425万9千円	35億4,071万円
文化及びスポーツ振興育成事業	207万3千円	217万2千円	32万円
国民健康保険事業	48億7,989万9千円	21億2,207万1千円	20億6,613万7千円
国民健康保険直営診療施設事業	3億456万8千円	1億4,043万8千円	8,502万4千円
公共下水道事業	6億426万3千円	3億668万5千円	1億6,491万8千円
工業団地造成事業	603万8千円	603万8千円	0円
農業集落排水事業	8,521万5千円	3,871万9千円	1,966万3千円
介護保険事業	28億3,823万7千円	13億1,562万3千円	9億5,423万6千円
後期高齢者医療	6,443万7千円	232万6千円	162万5千円
財産区管理事業	536万2千円	537万3千円	7万2千円

上水道		予算総額	収支済額
収益的	収入	6,657万4千円	106万3千円
	支出	6億6,659万4千円	4,369万1千円
資本的	収入	0円	0円
	支出	9,172万9千円	4,559万4千円

# 主な事業

民生費	内部被ばく検査	1,450万9千円	総務費	被災市町村地域コミュニティ再生支援事業	100万円
	浪江町復興計画策定委員会	4,947万8千円		浪江町行政区活動補助金	251万8千円
	浪江町復興支援員事業	6,121万6千円		自治会運営補助金	567万4千円
	一時立入町民の外部被ばく線量測定業務	6,841万9千円		町民協働による「復興まちづくり」支援事業	321万2千円
	初期緊急医療事業	1,487万7千円	衛生費	環境放射線モニタリング事業	210万円
	浪江町防犯管理業務事業	1億7,641万円		土木費	町道・橋梁の維持管理
	食品等放射能簡易検査事業	3,335万8千円	消防費	非常備消防事業	3,526万3千円
	浪江町ADR集団申立て事業	983万7千円		浪江町防災行政無線災害復旧工事	1億269万円
	住家被害認定調査	1,096万8千円	農林水産費	農業振興事業	871万2千円
	町内休憩施設(貴布祢)整備事業	492万1千円		教育費	郷土芸能復興支援事業
墓地環境整備事業	1億5,564万9千円	商工費	十日市運営委員会補助金	430万円	
浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業	1,213万1千円	労働費	緊急雇用対策事業	7,709万8千円	
防犯カメラシステム整備事業	417万9千円	災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業	2,554万7千円	
共同墓地整備事業	4,187万1千円				

## 8 職員手当の状況

(H26.4.1現在)

区分	6月期		12月期		計	国は、期末勤勉合計で3.95月分に対し町は3.9月分です。
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当		
期末勤勉手当	1.225月分	0.675月分	1.325月分	0.675月分	2.55月分	1.35月分
*職務上の段階・職務の級により加算措置あり						
退職手当率	退職事由		自己都合		定年・勤奨	
	勤続20年	21.62月分	27.025月分			
	勤続25年	30.82月分	36.57月分			
	勤続35年	43.70月分	52.44月分			
最高限度		52.44月分		52.44月分		国と同一
*定年前早期退職者に対する加算措置あり						
特殊勤務手当	防疫作業に従事する職員 死体を取り扱う作業等に従事する職員		●勤務した1日につき350円 ●勤務した1日につき1,000円			
	災害応急作業等に従事する職員 東京電力福島第一原子力発電所敷地内 免震重要棟の外 原子炉建屋内 故障設備等現場確認 上記以外		●勤務した1日につき40,000円 ●勤務した1日につき20,000円 ●勤務した1日につき13,300円			
	免震重要棟内 帰還困難区域 屋外 屋内		●勤務した1日につき5,000円 ●勤務した1日につき6,600円 (4時間未満は3,960円) ●勤務した1日につき1,330円			
	居住制限区域 屋外 屋内		●勤務した1日につき3,300円 (4時間未満は1,980円) ●勤務した1日につき660円			
	診療所に勤務する職員 医師 往診手当 研究手当 看護師および理学療法士		●勤務した1月につき往診料の100分の50に相当する額 ●給料月額と地域手当月額の合計額の100分の50に相当する額 ●勤務した1月につき2,000円			
地域手当	職務が複雑、困難な医師に対して給料、管理職手当、扶養手当の月額合計額の100分の15に相当する額					
時間外手当	正規の勤務時間を超えて勤務したときに支給される手当					
扶養手当	配偶者13,000円、配偶者以外の扶養親族6,500円 (ただし、配偶者のない職員の扶養親族のうち1人は11,000円) なお、扶養親族のうち満16歳になる年度初めから満22歳になった年度末までの子1人につき5,000円加算					
住居手当	借家・借間	月額9,500円を超える家賃を支払っている職員に対し、100円～27,000円				
通勤手当	交通機関等利用者	61,000円まで全額、61,000円を超えた場合、その超えた額の2分の1の額を61,000円に加えた額				
	交通用具利用者	通勤距離に応じて2,600円～50,400円				

## 9 部門別職員数の状況

(各年4.1現在)

区分	職員数(人)		対前年度増減数	主な増減理由	
	26年度	25年度			
一般行政門	議会	3	3	0	
	総務	75	67	8	業務量の増により
	税務	6	7	△1	事務の統廃合により
	民生	15	18	△3	事務の統廃合により
	衛生	18	17	1	業務量の増により
	農林水産	5	5	0	
	商工	3	2	1	業務量の増により
	土木	2	4	△2	事務の統廃合により
小計	127	123	4		
特別行政門	教育	13	15	△2	欠員不補充
	小計	13	15	△2	
普通会計計		140	138	2	
公営企業等部門	水道	4	3	1	業務量の増により
	下水道	3	3	0	
	その他	14	13	1	業務量の増により
	小計	21	19	2	
合計		161	157	4	

職員は、一般職に属する職員で、退職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いた数です。

# 町職員給与等を公表します

☎ 総務課行政係 ☎ 0243(62)0128

町の職員給与等は、国の制度に準じながら、町の財政状況などを考慮し、町議会の議決を経て条例で定めています。町政への一層のご理解をいただくために、町職員の給与や職員数の状況を皆さんにお知らせします。なお、ここに用いている数値は、「平成26年地方公務員給与実態調査」、「平成26年地方公共団体定員管理調査」および「平成25年度浪江町歳入歳出決算書」などを基にしたものです。

また、給与や職員数などの人事行政を国家公務員や類似団体と比較したものは、町ホームページに掲載します。

## 1 人件費の状況

(平成25年度決算)

住民基本台帳人口	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
19,275人	22,608,750千円	1,415,074千円	6.3%

人件費には、2の職員給与費のほか共済組合負担金、退職手当負担金、特別職に支給される給料、報酬等も含まれています。

## 2 職員給与費の状況

(平成25年度決算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
161人	577,386千円	99,432千円	201,431千円	878,249千円	5,454千円

職員手当には、退職手当及び児童手当は含まれていません。

## 3 職員の平均給料月額および平均年齢の状況

(H26.4.1現在)

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
浪江町	296,500円	40.0歳	356,100円	60.0歳
国	332,446円	43.1歳	286,850円	49.9歳

国の平均給料月額および平均年齢は、平成25年4月1日現在の数値です。

## 4 職員の初任給の状況

(H26.4.1現在)

区分		浪江町		国	
		決定初任給	採用2年目経過日給料額	決定初任給	採用2年目経過日給料額
一般行政職	大学卒	175,100円	187,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	142,500円	151,000円	140,100円	148,500円

国の初任給には、地域手当などの給料の調整額は含まれていません。

## 5 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

(H26.4.1現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	276,100円	312,200円	362,700円
	高校卒	214,300円	268,300円	329,400円

(1) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。

## 6 級別職員数

(H26.4.1現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
職員数(人)	18	32	42	51	16	2	161
構成比(%)	11.2	19.9	26.1	31.7	9.9	1.2	100.0

職員数には、特定任期付職員は含まれていません。

## 7 特別職の報酬等の状況

(H26.4.1現在)

給料(報酬)月額	期末手当	
	6月期	1.4月分
町長	399,000円	1.4月分
副町長	441,000円	1.5月分
教育長	410,900円	
議長	302,000円	
副議長	256,000円	
議員	235,000円	

町長、副町長および教育長の給料は、「町長等の給与の特例に関する条例」に基づき、町長50%、副町長・教育長30%減額された後の金額です。

原発賠償に関して知っておきたい大事なポイントの解説と、日々の生活で問題が起きた際に迷わず対応するための予備知識をお伝えしていくコーナーです。

財産の所有者が亡くなった時には次の所有者を決めなければなりません。一つの方法として、所有者の生前の指示により次の所有者を決めることができます。それが遺言です。法律上の遺言は7種類ありますが、ほとんどが自筆証書遺言か公正証書遺言です。

亡くなった後に本人の真意を確認することはできませんので、遺言書の方式は厳格に定められています。ただし、亡くなる前であれば自由に変更や撤回ができます。

いつかためになる

# 法律知識

Vol.13  
遺言書の準備

弁護士 井上 航  
産業・賠償対策課 主幹  
(所属：第二東京弁護士会)



**Q** 葬儀費用のためにいくらかの預金は残して、財産はほとんど親族に渡し、遺言書を書いていないでしょうか。

**A** 遺言書に書くことで法律上の意味がある事柄(遺言事項)は、遺産の分け方や婚外子の認知などに限定されています。しかし、法律上の効力は別としてそれ以外の事柄を書くことが禁止されているわけではありません。「仏花は〇〇の花をお願いします」「困ったら〇〇さんに相談しなさい」「兄弟姉妹いつまでも仲良く」など、なんでも構いません。

親族や友人に遺したい思いや願いがあっても、遺言書を書くことには意味があることもあるでしょう。自筆証書遺言は費用がかかりませんが、遺言事項でなければ厳格に考える必要はありません。是非ご自分なりの遺言書を書いてください。

**Q** 公正証書遺言の作成を考慮しています。手続と費用を教えてください。

**A** 公正証書遺言は、公証役場で公証人に作成してもらいます。公証人は元裁判官などベテランの法律家ですので、公正証書遺言は信用性が高く、後

## インフルエンザに注意しましょう

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人ひとりが「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

### 【自分でできる予防対策】

◇外出後は、小まめに、丁寧に手洗い・うがい  
石けんなどを使ってしっかりと洗い、きれいなタオルなどで十分にふき取りましょう。  
アルコール消毒も効果的です。  
うがいも忘れずに。



## 保健だより



健康保険課健康係 ☎0243(62)0168

### ◇十分な栄養と睡眠をとって健康管理

健康管理も重要。栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておきましょう。

### ◇予防接種も効果的な予防法の一つ

予防接種はインフルエンザ発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。毎年定期的な接種が有効です。

\*咳やくしゃみのあるときは、「咳エチケット」を守りましょう。

- マスクをする
- 口と鼻をティッシュでおおう
- 周りの人から顔をそむける



## 小児健診は受診されましたか？

小児健診は、長引く避難生活や放射線への不安などが健康に様々な影響を及ぼすことが懸念されることから、疾病の早期発見、早期治療のために行っているものです。受診期間は12月までです。冬期は、医療機関の混雑が予測されるため、早めに受診されることをお勧めします。

- ▷対象者  
福島県内の平成23年時指定避難区域等の住民で、平成11年4月2日から平成26年4月1日までに生まれた方
- ▷費用 無料  
※詳しくは、対象の方にお送りしている「小児健康診査」に関するお知らせをご覧ください。
- 申・問 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター ☎024(549)5130

### 広げようママ友の輪 今月のかもめっ子クラブ

- ◆郡山市◆ 11月13日(木) 10時～  
郡山市総合福祉センター
- ◆いわき市◆ 11月20日(木) 10時～  
いわき市文化センター
- ◆南相馬市◆ 11月27日(木) 10時～  
高平生涯学習センター



## 県外で高齢者等インフルエンザ予防接種および高齢者肺炎球菌ワクチンを接種する方へ

避難先の市区町村で接種することができますが、接種の際に自己負担金がある場合には、浪江町で費用を負担しますので、予防接種費用助成申請(請求)書に必要な書類を添えて郵送してください。

- ▷対象者
- ① 高齢者等インフルエンザ予防接種  
65歳以上の方
  - ② 高齢者肺炎球菌ワクチン  
平成26年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上になる方(すでに高齢者肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことのある方は、対象外となります。)
- ※①②とも、60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいまたはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方(身体障害者手帳1級に相当する程度の障がい)も対象になります。

- ▷必要書類
- 予防接種費用助成申請(請求)書
  - 領収書(原本)
  - 予診票(写し可)または予防接種済証の写し
- ※予防接種費用助成申請(請求)書がない方は、ご連絡ください。

## 相談はこちらまで

■福島県弁護士会 原子力発電所  
事故被害者救済支援センター  
☎024(533)7770  
\*受付時間(平日 10時～15時)  
\*東電に関する賠償請求と和解の申立てに関する専門ダイヤルです。

■震災法テラスダイヤル  
☎0120(078309)  
\*受付時間(平日 9時～21時、  
土曜日 9時～15時)  
\*福島市・二本松市・双葉郡広野町に相談できる事務所があります。  
県外の法テラスも紹介してもらえます。

☎産業・賠償対策課賠償支援係  
☎0243(62)0167

のトラブル防止に効果的です。また、公正証書遺言の原本は公証役場に保管されるので、破棄や改ざんも防止できます。公証役場は福島県内では福島、郡山、白河、会津若松、いわき、相馬にあります。

通常、公証役場を突然訪問してその場で作成するのは難しいため、電話などで事前の相談と予約をしておきましょう。また、ご希望に沿った遺言書を遺したいなら、法律専門家に相談して作成の手助けや公証役場との話し合いを代理してもらった方がいいでしょう。

作成手数料は財産の総額と分配の仕方大きく違ってきます。

あくまで概算ですが、総額5千万円の財産を子ども1人に相続させるのであれば手数料は4万円、子ども2人に各2千万円、姪に1千万円を渡す場合、手数料は7万4千円になります。正確な手数料など、詳しくは公証役場にご相談ください。

病院や自宅に出張してもらう場合は、割増料金や経費が必要となります。また、作成に当たっては関係者以外の証人2名の立会いが必要です。友人・知人でもいいのですが、遺言の内容を知られたくないのであれば日当を払って公証役場に用意してもらうこともできます。

# 東京と二本松にて、 タブレット体験会を開催します！

タブレットを使ったことがない、タブレットで何ができるのかわからない、浪江町タブレットって他のタブレットと何が違うの？そんな疑問にお答えします。

## 東京会場

**日時** 平成 26 年 11 月 29 日 (土)  
午後 1 時～午後 4 時

**場所** 東京国際フォーラム <http://www.t-i-forum.co.jp/>  
(東京駅から徒歩 5 分、有楽町駅から徒歩 1 分)

首都圏  
交流会  
にて

## 二本松会場

**日時** 平成 26 年 11 月 30 日 (日)  
午前 9 時～午後 5 時

**場所** 二本松駅前の二本松市市民交流センターとその周辺地域

十日市祭  
会場にて

※日曜日のみ  
出展予定です

## 内容 (両会場共通)

タブレットを使っての写真撮影、テレビ電話、楽器演奏などを体験できるほか、開発中の浪江町アプリを実際に触っていただけます。また、シニア世代のパソコンやタブレットの楽しい活用法についての講演もあります。どうぞご参加ください。



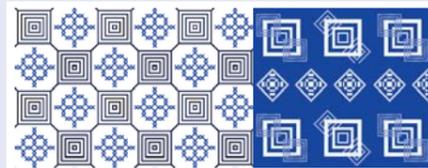
▲ふたばワールドでのタブレット体験の様子

## 講演 若宮正子さん



### プロフィール

マーチャンこと若宮正子は、現在 79 歳。定年退職後に母の介護をしながらパソコンと旅を楽しむ。1999 年にシニア世代のサイト「メロウ倶楽部」を立ち上げた。高齢者向けパソコン活用術として 10 年前に考案した「エクセルでアート」は、若い世代からも支持を得ている。デジタルで創造する喜びを世界に伝えながら、本人も存分に楽しんでいる。



▲表計算ソフト「エクセル」をつかって描いた作品。小さなマス塗り分けすることで全体が一つの絵になっている。

## タブレット 先行配布の ご案内

東京・二本松の体験会にご参加いただいた方の中から、モニターを募集します。モニターには、試作段階のアプリを使っていただき、ご意見・ご感想をインタビューさせていただきます。ご希望の方は、詳細を会場にてお知らせしますのでスタッフにお声がけください。

お待たせしました！

# 浪江町タブレット端末の 申込受付を開始します

浪江町では、町民の皆さんのきずなの維持を図り、町からの情報提供をより充実させるためタブレット端末を配布します。皆さんから、たくさんのアイデアをいただき、これまでタブレットに触れたことのない方でも親しんでいただけるよう工夫しています。ぜひお申し込みください。



## 主な機能

- 町からのお知らせ (行政情報・災害情報) の配信
- 福島県内ニュースの閲覧 (毎日福島県内のニュースが見られます！)
- 浪江町関連イベント情報の閲覧・配信
- 放射線情報の閲覧 (モニタリングポストよりも詳細な情報を提供予定)
- ガイド機能
- 写真スライドショー機能

※画面はイメージです。 ※機能について詳しくは広報なみえ 10 月号 (P.16) をご覧ください。



タブレットに触ったことがない方や、申込む前に浪江町のタブレットを体験したいという方は、是非タブレット体験会にご参加ください。詳しくは、次ページ参照。

## タブレット 配布対象

避難先 1 住所につき 1 台配布です。ご家族が別々の避難先で生活している場合、それぞれ申し込むことができます。同じ住所に複数世帯が同居されている場合、配布は 1 台となります。

## 申込方法

11 月上旬より、避難先各世帯に浪江町タブレット申込みに関する書類一式の封書をお送りします。同封されている「浪江町タブレット端末借受申込書」およびアンケート用紙に必要事項をご記入の上、返信用封筒にてご返送ください。

## 申込期限：平成 26 年 12 月 8 日 (月)

※電話・FAX・メールでは受付できませんのでご注意ください。  
※上記期限を過ぎても申込みはできますが、配布時期が遅くなりますのでご了承ください。

## 配布時期

平成 27 年 1 月から 3 月まで順次配布いたします。

## よくある 質問と答え

申込書に「よくある質問と答え」を同封します。浪江町ホームページでも以下の URL からご覧いただけます。あわせてご覧ください。

<http://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/2/201405tablet.html>

問 復興推進課 情報統計係 TEL 0243(62)4731 FAX 0243(22)4218

応援職員一同、浪江町の復興を願う気持ちはひとつです。  
ともに一歩ずつ前進しましょう!

### いまの浪江を漢字一文字で表すと?

- 迷** 模索しながら前に進もうとしている。／まだまだ不透明な状況。町民の皆さんの心情。／住民も行政も将来の生活設計および行政運営が混迷している状況。
- 耐** 復興を信じて、持ちこたえてほしい。／避難先での生活に静かに耐えている状態。
- 挑** 課題山積。チャレンジし甲斐がある。／未踏峰への挑戦。
- 動** 一歩一歩ふるさと再生に向け動いている。
- 芽** 町民や職員の皆さんの町内や新たな土地での活動が、少しずつ目に見えるようになってきた。
- 權** 人力で船の推進力を得るように、浪江町住民、私たち職員を含めた「人間力」で浪江町の未来へ向かう推進力を得る。
- 未** 未だ不確定なことが多いが未来がある。
- 混** 混乱、混沌、避難先住民と混じっての生活。
- 漂** 復旧・復興のビジョン、予定はあるにせよ、現在は未だ漂い状態の感。
- 瞑** 未来が見えない。見えているとしてもその暗い状況を正視できずに目を瞑っている状態。

### 10年後「こうあってほしい」浪江町を漢字一文字で表すと?

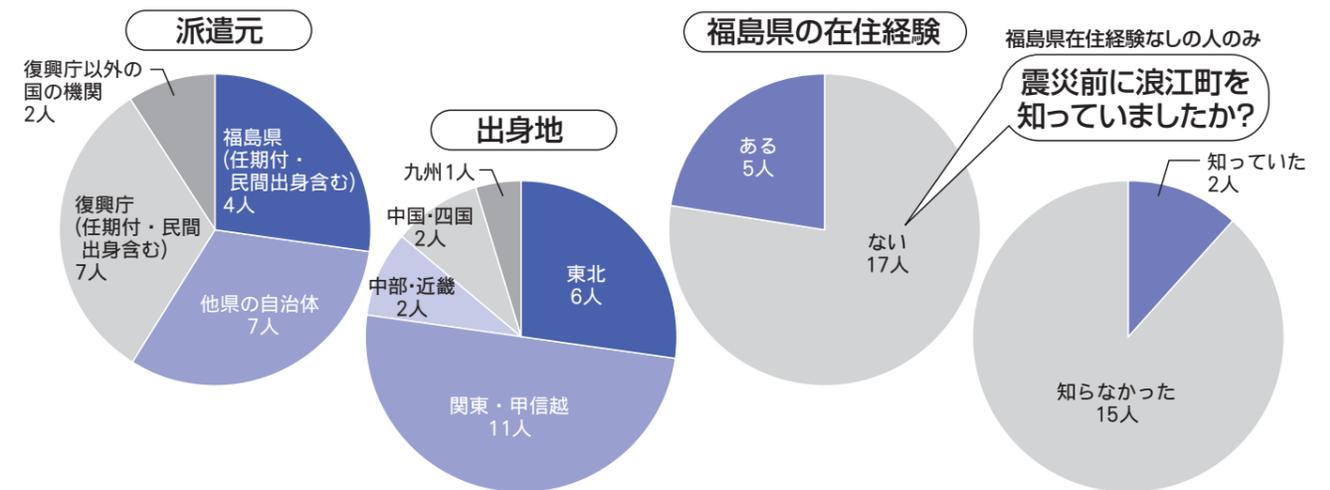
- 自** その土地の良さを生かし、外に向かって閉じることなく自律・自立し、真の自由を手に入れた共同体になってほしい。／町として自立して欲しい。
- 安** 少しでも安心して暮らせる街になってほしい。／安らぎや安心、安定した生活が戻ってほしい。
- 和** 様々な場面で、和んでいてほしいと願う。／それぞれが置かれている状況は違えども、ポジティブに、手を取り合って浪江町の心を継承して欲しい。
- 再** まちの再生、人々の再会、再生エネルギーの振興。
- 実** 町内や新たな土地での皆さんの活動が成果として実を結んで欲しいと思う。
- 住** よく事をなし、自然に親しみ、争いもなく穏やかな暮らしを続けることができる浪江町であってほしい。
- 笑** 皆さんの素敵な笑顔にお目にかかりたい。
- 新** 過去と全く同じ浪江町はもう無理かもしれないが、新しい魅力ある町になってほしい。
- 歩** 地に足がついて、コンパクトながら新しい町が歩み出す。
- 晴** 住民も行政も現在の混迷状態を脱却し、落ち着き晴々とした日常を送ってほしい。
- 風** 浪江に限らず双葉郡全体で。風の導くままの自然な姿になるだろう。それが素晴らしい風であらんことを。
- 魅** 美しい浪江町を再生させ、みなぎ活き活き魅力ある浪江町へ。
- 活** 活気にあふれる町であってほしい。
- 前** 新しい浪江町が活気づき、前に進んでいることを実感できている。

# 応援職員に聞く な・み・え



浪江町役場では現在、本庁舎・二本松事務所あわせて約160名の正職員・約100名の臨時職員とともに、日本各地から派遣された22名の応援職員が専門的な任務を帯びて働いています。出身地も派遣元も派遣期間も様々ですが、みな浪江の復旧・復興に力を添えられるよう日々努めています。そんな応援職員の手で見た浪江／福島について、聞いてみました。  
※データは9月30日現在です。

### 応援職員のプロフィール



### タイムスリップして、震災前の浪江に行けるとしたら、やってみたいことは?

#### 食べる 浪江焼そばの食べ歩き!

鈴木酒造で搾りたての壽を飲みたい。  
美味しい海鮮物をいただきたい。

#### 請戸の新鮮な刺身を食べてみたい!

大室屋で甘口ラーメンを食べたい。

#### 皆さんと浪江町で朝まで宴会したい!

#### 自然 請戸川の鮭の遡上を見たい!

川遊び、アユ釣りや山菜採り。  
浪江町の自然を満喫できる、高瀬川渓谷の紅葉鑑賞。

#### ハイキング、釣り、キャンプ等を存分に楽しみたい!

### 浪江町役場で仕事を始めて、感じたこと・驚いたことは? ※( )内は派遣元

- ★災害から3年以上経過しても、このような現状。原子力災害の物凄さを痛感する。(復興庁)
- ★全町民避難という異常な現実の中での行政運営の混迷および困難を、ひしひしと感じる。(他県自治体)
- ★役場職員も被災者なのに、おくびにも出さず、明るく仕事に励んでいる姿に感動した。(復興庁)
- ★役場職員と町民との距離が近いと感じる。町民の声にしっかり耳を傾け、応えていきたいと思う。(国)
- ★先が見えない中でも前向きに生き抜こうとする住民および職員の逞しさを感じる。(他県自治体)
- ★職員の皆さんの明るさ。あいさつや声かけなど、庁舎全体が活気にあふれているなど感じた。(他県自治体)
- ★普段から防災訓練や防災マップ作り等に対する意識が低かったと聞いて驚いた。(復興庁)
- ★係も、町も、組織としての意思決定方法が不明確だと感じる。(他県自治体)



開会式で、昨年のゴールドグランプリ浪江焼麺太国より「金の箸」返還

## B-1グランプリ in 郡山 ～感謝の気持ちでおもてなし

第9回「ご当地グルメでまちおこしの祭典！B-1グランプリin郡山～東北・福島応援特別大会～」が、10月18日・19日に郡山市内で開かれ、45万人超の人出でにぎわいました。

B-1グランプリは、全国のまちおこし団体の協議会である「愛Bリーグ」加盟団体が出展するイベントで、前回の第8回B-1グランプリin豊川では、浪江町の『浪江焼麺太国』が念願のゴールドグランプリを受賞しました。本来は、同リーグ加盟団体の地元でしか開催できない大会ですが、浪江町は避難指示区域内であるため、今年は東日本大震災からの復興を目指す特別大会との位置づけで、郡山市と浪江町とで実行委員会を立ち上げ、郡山市内で開催したものです。

浪江町は、大震災後に全国から頂いたご支援に感謝の気持ちを込め、ご恩返しとおもてなしの心でご来場の皆さまをお迎えました。



会場の仮設トイレに設置する「花飾り」を、浪江町民のみなさんが感謝の気持ちをこめて手作りしました。

## 浪江地区防犯指導隊に 感謝状と防犯功労団体表彰

地域の安心安全を守るため、多年にわたり防犯活動に尽力された功績が讃えられ、9月25日、浪江地区防犯指導隊に対し、警察庁長官と全国防犯協会連合会会長より、感謝状と「防犯功労団体表彰」の記念の盾が贈られました。

君島勝見指導隊長らは、9月29日に役場二本松事務所、9月30日に双葉警察署、10月2日に葛尾村役場、双葉町役場、二本松警察署、10月6日には福島県警本部を訪れ、受賞報告を行いました。



## 平成26年度浪江町消防団 秋季検閲式



皆さまの身の回りにある楽しい話題、  
いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

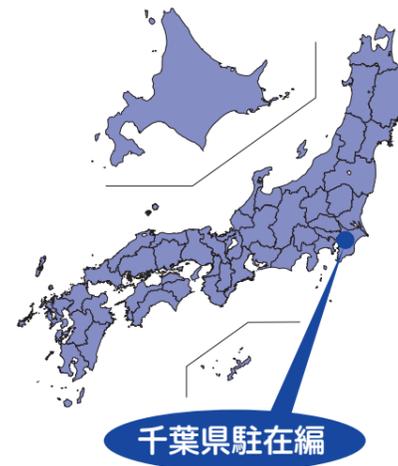
☎ 復興推進課情報統計係  
TEL 0243(62)4731



10月5日、二本松市内の浪江中学校グラウンドで、浪江町消防団の秋季検閲式が行われました。東日本大震災後初めて屋外での検閲式となったこの日は、曇り空の肌寒い一日となりましたが、全国の避難先から全6分団115名の団員が集まり、閲団・分列行進に臨みました。検閲式では、功績章9名、精勤章23名の表彰が行われたほか、町長からは、毎週持ち回りで町内のパトロールを行っている消防団員に対し、ねぎらいと激励の言葉が贈られました。



## 浪江町 復興支援員通信



浪江町は、町で委嘱した【浪江町復興支援員】計30名を全国10府県に配置し、全国に避難している浪江町民の想いに寄り添った形のサポート活動を行っています。

復興支援員は町民一人ひとりと向き合い、不安や悩み、浪江町への想いなどに耳を傾け、一人ひとりの暮らしの再建に向け『どこに住んでいても浪江町民』を合言葉に、活動しています。

今回は、千葉県駐在の浪江町復興支援員【担当エリア：千葉県、東京都の一部】の活動状況を紹介します。

### 個別訪問の状況

月	訪問件数	訪問地区
7月	14件	千葉県(成田・千葉・印西・船橋・南房総市)
8月	22件	千葉県(浦安・千葉・木更津・佐倉) 東京都(江戸川区)
9月	13件	千葉県(銚子・柏・我孫子・流山市) 東京都(江戸川・墨田区)
10月	一件	東京都(葛飾・台東・荒川区)※予定
11月	一件	東京都(葛飾・台東・荒川区)※予定

### 訪問して伺った話の内容(一部)

- 住宅の今後が心配(今いるところにいつまで住めるか?)
- 住宅を探している
- 浪江の人が傍にいないですか?
- 特殊な賠償のケースで困っている
- 住宅購入の補助は?

### 交流会開催状況

月	交流会名
7月	大堀相馬焼体験交流会
9月	大堀相馬焼完成作品鑑賞交流会
9月	男はつらいヨ交流会
9月	ご近所ですよ～交流会
10月	浪江町杯パークゴルフ交流会 ※予定



### 交流会の様子



### 情報発信



ブログ <http://blog.canpan.info/namiesienchiba/>



浪江町千葉県駐在復興支援員です。今後ともよろしくお願います!

☎ 生活支援課 避難生活支援係 TEL 0243(62)0305

# 浪江町長杯を開催しました

## 浪江町長杯ソフトボール大会

「浪江町長杯ソフトボール大会」は9月27日、本宮市の白沢運動場で開催され、町民120名9チームが参加しました。心地よい秋空の下、全国に避難している町民同士久しぶりの再会もあり、ソフトボールを通して交流を深めました。

- ★優勝 SSB
- ★準優勝 クララース
- ★第3位 川添クラブ
- ★第3位 オールジャック



## 浪江町長杯家庭婦人バレーボール大会

「浪江町長杯家庭婦人バレーボール大会」は10月11日、本宮市の白沢体育館で開催され、町民56名5チームが参加し、白熱した試合に体育館内は熱気と声援で大いに盛り上がりました。昼食には浪江焼そばが振る舞われ、大会終了後は場所を岳温泉に移し、1泊で参加者同士の交流会も開かれました。

- ★優勝 チーム幾世橋
- ★準優勝 POWER'S



## 浪江町長杯ゲートボール大会

「浪江町長杯ゲートボール大会」は9月30日、二本松市の郭内屋内ゲートボール場で開催され、町民25名が参加しました（今年は6月に続いて2回目の開催）。今回も町長杯終了後に参加者の交流大会も開催され、ゲートボールを通して絆を深めました。

- ★優勝 チーム名：サーモン  
小山公明、今野昭三、遠藤千恵子、遠藤忠明、渡部 悟
- ★準優勝 チーム名：サクラ  
青田宗夫、黒田秋子、愛沢 崇、佐藤経明、高橋イネ



# 広島市の皆さんへ心を込めて パステルアートを贈ります

9月8日、福島市内にある笹谷東部仮設住宅の自治会で、講師に川崎之子さん（福島市在住）をお迎えして葉書サイズのパステルアートに挑戦しました。

今回作成した作品は支援団体「ラブフォーニッポン」を通じて、甚大な土砂災害に見舞われた広島市を勇気づけたいという想いと、これまでご支援いただいた感謝の気持ちを込めて贈ります。



# 第8回市町村対抗福島県 軟式野球大会

第8回市町村対抗福島県軟式野球大会は9月13日、郡山市の開成山野球場で開会式があり、計8日にわたり県内3つの野球場で試合が行われました。浪江町は9月14日、天栄村に10-0で勝利しましたが、9月20日の2回戦では惜しくも矢吹町に1-0で敗れました。（優勝は福島市）



# ふたばワールド2014 in かわうち

9月28日、川内村の川内小学校で「ふたばワールド」が開催されました。双葉郡8町村の交流イベントで、昨年14年ぶりに復活したものです。晴天に恵まれた日曜日、避難先からの乗り合いバスも運行され、会場は多くの人でにぎわいました。浪江町は「ふたば地方なう」のコーナーにブースを構え、復興の様子の展示や、町民に配布予定のタブレットの操作体験をしていただきました。ステージでは相馬流山踊り保存会の皆さんが踊りを披露、また復興商店街には大堀相馬焼となみえ焼そばも出展しました。



# 「東北復興支援成田市民号」が陶芸 の杜二本松工房を訪れました

10月5日、千葉県成田市民の有志でつくる「東北復興支援成田市民号」が、二本松市で活動を再開した、陶芸の杜二本松工房を訪れました。

成田市の実行委員会から町長に見舞金と成田市の名産品が贈呈され、町長からは実行委員会と参加市民の皆さんへ、鈴木酒造店の日本酒を贈りました。

そのほか、大堀相馬焼協同組合理事長と浪江町商工会長が参加し、成田市観光協会、大本山成田山新勝寺、JR成田駅長の皆さんと名産品の交換を行って交流を深めました。



# ありがとうございました



8月26日、東北共同乳業様から、本宮市内の恵向仮設住宅皆さんへヨーグルト（新製品）が贈られました。ヨーグルトを食べて健康になって欲しいとの気持ちが込められています。



10月6日、成田商工会議所様から、同会議所で開催した「東日本大震災復興支援チャリティゴルフ大会」で募った義援金をいただきました。



9月16日、浪江中学校三回卒 傘寿同期会様から浪江小・中学校へ教育資金をお届けいただきました。子どもたちのために有効に活用させていただきます。



9月29日、長野県長野市で美容室を営んでいる、㈱りんごの木（代表 島田良）様から、店頭にて募金活動を行い、さらに社員の皆さんから募った寄附金を役場二本松事務所へお届けいただきました。



9月26日、岡山県高梁市職員労働組合様から、役場二本松事務所へ義援金をお届けいただきました。写真左の河邊一正さん（高梁市職員）には、震災後本町の応援職員として一年間ご尽力をいただきました。



10月10日、青森県十和田市立北園小学校で一昨年12月に行われた、東日本大震災の犠牲者の鎮魂と復興を願った電飾プロジェクト（北園電飾プロジェクト）で募った義援金を役場二本松事務所へお届けいただきました。



## ふくしま駅伝の 応援よろしくお願いします!

「第26回ふくしま駅伝大会」は、しらかわカタルスポーツパーク陸上競技場(白河市運動公園)を7時40分にスタートし、県庁までの16区間95.1kmをコースに繰り広げられます。皆さまの応援よろしくをお願いします。

■日時 11月16日(日)

■浪江町選手団(敬称略)

- 監督 佐藤博文
- コーチ 吉田信一・末永将人
- 主将 木村郁也
- 選手 脇坂忠宏・谷田武美・遠藤俊二・佐久間ともえ  
佐藤 晋・吉田尚史・吉田龍司・武内智洋  
岡 裕美・畠山侑希・志賀磨美・山本峻介  
山田修也・今野実由・原田 祥・武藤琢郎  
小野田恵典・佐藤宏紀・松本蘭樹  
佐久間つぐみ・金山裕生・上野里香子  
吉田佑平・吉田美優・田中滉大・大場涼加  
石井あかね・岡本和夫・吉田あゆみ  
島拔歩夢・岡本ちり・遠藤陵平・杉 奎人



今年の夏合宿のようす

☎教育委員会事務局 TEL0243(62)0304

**常磐自動車道  
開通記念サイクリン  
グ(兼)第41回市民サ  
イクリング大会を開  
催します**

原町サイクリング協会は、常磐自動車道開通を記念して常磐道の未開通区間をコースとしてサイクリング大会を開催します。コースは南相馬市ICから原町トンネル(馬事公苑直下)南

側入口付近にてUターンの約18kmです。奮ってご参加ください。

▽開催日時 11月30日(日)

▽集合場所 南相馬IC

▽対象者 小学4年生以上でコースを走る脚力を有する方(小学生は保護者同伴)

▽参加費 一人 800円

▽申込み方法 原町サイクリング協会が最寄りの生涯学習センターに参加費を添えてお申込みください。

▽申込み締切 11月24日(月)厳守  
※当日参加はできません。

▽定員 250名(定員になり次第締め切ります)

☎原町サイクリング協会(佐藤じてんしゃ屋)  
TEL 0244(23)3357

## 厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

資格取得講座の受講者を募集しています

ご好評いただいております各種資格取得講座ですが、後期の日程が続々決定していますので、締め切りの近いものをご案内します。この他、1月・2月と開催日程が決まっている講座もありますので、詳しくは当協議会のHPをご覧ください。

受講料  
テキスト料  
無料

### ◆Word・Excel(2級)コース(20名)

【福島会場】11/17~12/15 締切:11/10(月)  
【南相馬会場】11/26~12/25 締切:11/19(水)  
【郡山会場】12/16~1/21 締切:12/9(火)

### ◆Webデザインコース(15名)

【いわき会場】1/7~2/4 締切:12/24(水)  
※他、いわき会場別日程、福島、郡山会場での開催予定あり

### ◆介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)(20名)

【福島会場】12/11~3/12 締切:12/1(月)  
【いわき校】12/12~3/6 締切:12/2(火)  
【郡山会場】12/24~3/9 締切:12/12(金)

各種講座や職場体験、就職相談の詳細内容は、ホームページをご覧ください。窓口までお問い合わせください。

☎浪江窓口 TEL0243(24)9310 URL <http://fkkoyou.net/> 働きたいネット で検索

## 浪江町メールマガジンの 登録はお済みですか?

浪江町のホームページはほぼ毎日更新されています。最新の行政情報やイベント情報が、リアルタイムで閲覧できますので、インターネット接続が可能な方は定期的な確認をお勧めします。また、ホームページ更新情報を一覧にしてメール配信するサービス(浪江町メールマガジン)も提供しています。こちらまでご利用ください。

- 浪江町ホームページ:  
URL [www.town.namie.fukushima.jp](http://www.town.namie.fukushima.jp)
- 浪江町メールマガジンの登録はこちらから:  
URL [www.town.namie.fukushima.jp/namie-ml/regist.html](http://www.town.namie.fukushima.jp/namie-ml/regist.html)



ここからは広告です。

**田村市船引町で営業しています。**

サンプラザ観光 特選バスツアー  
12/20日(土) クリスマス in 東京デイズニースト!  
参加費用:大人¥12,800- / 中・高生¥11,900-  
4才以上~小学生¥10,600- / シニア¥12,100-

心に残る旅の思い出作りをお手伝いさせていただきます。

**(株)サンプラザ観光** 福島県知事登録旅行業 第2-349号  
〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9  
TEL:0247-73-8097 FAX:0247-73-8098  
代表取締役 先崎 教一郎

## つながる ところ

### 「ふるさと浪江会」の懇親会を 開催しました

「ふるさと浪江会」による懇親会が8月23日、東京都芝浦で開催されました。懇親会には原田直之会長をはじめ50名の会員の皆さんが参加し、故郷や近況などを語り合い、屋形船で東京の夜景を楽しみながら楽しいひと時を過ごしました。

☎〒160-0023

東京都新宿区西新宿4-32-4-902 シネボイス内  
ふるさと浪江会事務局



町民の皆さんからお寄せいただいた情報を掲載します

### 「第39回全日本クラブ野球 選手権大会」に出場しました

9月6日、西武ドームで開催された「第39回全日本クラブ野球選手権大会」に浪江町の選手が出場しました。

☎本田進一



左から 山田好彦選手、本田進一選手、古村三浩選手、宮下亮介選手

### 金融庁と財務局からの大切なお知らせ

東日本大震災により住めなくなった家の住宅ローンが残っていませんか？

「個人版私的整理ガイドライン」を利用することにより、住宅ローンなどの免除を受けることができます。

本制度は、被災された方の生活再建を支援するための制度です。まずはご相談ください。  
 (注) 債務の免除には、一定の要件を満たすことが必要となります。

#### ▽個人版私的整理ガイドライン」を利用するメリット

- ① 個人信用情報の登録などの不利益を回避できます。
- ② 国の補助により、弁護士費用はかかりません。

(注) 運営委員会に登録された弁護士に費用に限りません。

③ 手元に残せる現預金の上限が、500万円を目安に拡張されています。  
 義捐金等は、右記500万円とは別に手元に残すことができます。

(注) 被災状況、生活状況などの個別事情により減額があります。

個人版私的整理ガイドライン運営委員会  
 コールセンター  
 ☎0120(380)883  
 福島支部  
 ☎024(526)0281  
 受付時間 平日9時~17時

### 相馬税務署からのお知らせ 年末調整の説明会を開催します

11月に福島県内各税務署で、平成26年分年末調整説明会の開催を予定しています。

詳しくは、源泉徴収義務者あてに送付しています。年末調整関係書類をご確認ください。

なお、年末調整関係書類は、税務署にお届けのある住所あてに送付していますので、まだ届いていない方は、相馬税務署法人課税第一部門へお問い合わせください。

相馬税務署では、雑損控除や賠償金の申告相談を次のとおり行っています。

#### 申告相談のお知らせ

相馬税務署では、雑損控除や賠償金の申告相談を次のとおり行っています。

### 避難状況 (9月30日現在)

都道府県	人数	対8/31	都道府県	人数	対8/31
北海道	73	0	滋賀県	1	0
青森県	41	-1	京都府	33	0
岩手県	31	0	大阪府	56	-2
宮城県	673	4	兵庫県	17	0
秋田県	69	0	奈良県	7	0
山形県	195	-3	和歌山県	0	0
福島県	14,669	-18	鳥取県	1	0
茨城県	943	4	島根県	6	0
栃木県	474	6	岡山県	23	1
群馬県	164	-5	広島県	14	0
埼玉県	748	4	山口県	1	0
千葉県	554	1	徳島県	1	0
東京都	921	0	香川県	3	0
神奈川県	458	2	愛媛県	14	0
新潟県	476	0	高知県	7	0
富山県	15	0	福岡県	22	0
石川県	31	0	佐賀県	5	0
福井県	12	0	長崎県	12	0
山梨県	59	0	熊本県	2	0
長野県	56	0	大分県	5	0
岐阜県	18	0	宮崎県	8	0
静岡県	66	-1	鹿児島県	7	0
愛知県	29	0	沖縄県	20	0
三重県	9	0	国外	11	0

#### ▽相談会場

ピアレスコ内申告相談会場

#### ▽相談期間

11月28日(金)まで

※土・日・祝日を除きます。

#### ▽受付時間

9時30分~16時

平成22年分から平成25年分の所得税の確定申告・納付等については、平成27年3月31日(火)までに手続をお願いしていますが、来年の確定申告期は相談会場が大変混雑すると見込まれます。手続がお済みでない方は、是非ともこの機会のご相談をお勧めします。

申告相談に当たっては事前の

ご予約をお願いしています。

まずは相馬税務署または最寄りの税務署まで電話等によりご連絡ください。

#### ▽相馬税務署

☎0244(36)3111

※自動音声案内に従って「0番」を選択してください。

※電話によるご相談とご予約は、平日の9時から17時まで受け付けています。

ここからは広告です。

サンプラザ買物利便性向上支援事業

## サンプラザふねひきパーク店までの無料送迎バス運行中!

各地区別に月計5回 無料送迎実施中 毎回大好評

お近くの借上げ住宅にお住まいの方も、お気軽にご利用ください。

二本松地区 毎月2回 1日と15日	本宮地区 毎月 10日	桑折・福島地区 毎月 18日	白河・郡山地区 毎月 25日
-------------------------	-------------------	----------------------	----------------------

サンプラザ ふねひきパーク店  
 田村市船引町船引字原田9 〒963-4312  
 お問い合わせ・お申込みは  
**080-5730-8410**  
**080-5730-8411**  
 受付時間 AM10:00~PM6:00

### 双葉消防本部からのお知らせ

## 11月9日~15日まで 秋の全国火災予防運動が実施されます!

火災が発生しやすい季節を迎えます。住民一人一人火の取り扱いには十分気をつけてお過ごしください。



### 住宅防火のいのちを守る3つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない。
- 暖房器周辺には物をおかない。
- 火元から離れない。



### 火事と救急は119番

浪江消防署 ☎0240(38)2119  
 富岡消防署 ☎0240(25)2119



## 平成26年度 陸上自衛隊 高等工科学校生徒を募集します

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり学生を募集します。

応募資格	15歳以上17歳未満の男子 (中卒または中学卒業見込み含む) (年齢基準：平成27年4月1日現在)
募集人員	約260名
受付期間	平成26年11月1日(土)~平成27年1月9日(金)
試験期日	1次：平成27年1月24日(土) 2次：平成27年2月7日(土)
受験会場	1次試験：南相馬市労働福祉会館 2次試験：陸上自衛隊郡山駐屯地
試験内容	1次：筆記試験(国語、社会、数学、理科、英語) 択一式・マークシート(内容は中学校卒業程度) 作文(500字程度) 2次：口述試験および身体検査
合格通知時期	1次：平成27年1月30日(金) 最終：平成27年2月20日(金)
入校時期	平成27年4月上旬
受験案内	自衛隊相双地域事務所配布しています。

申・問 自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所  
 〒975-0033南相馬市原町区高見町1丁目142-2  
 TEL・FAX 0244(23)4712

### わたしたちのまち

(平成26年9月末現在)

人口	19,138人	転入	3人
男	9,326人	転出	31人
女	9,812人	出生	12人
世帯数	7,165戸	死亡	20人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。  
 ※人口は、外国人を含みます。

※お誕生・お悔み欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。

復興推進課情報統計係 ☎0243(62)4731

### お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名(性別) 親の名 住所

#### 9月

高木 煌 雅 男 勇・友理 北幾世橋
牛来 莉 心 女 凌介・実保 権現堂
澤田 莉 歩衣 女 総・裕美 川添
内村 環 太 男 淳・直子 権現堂
渡邊 咲 笑 女 浩次・恵理香 羽附
愛澤 葵 女 亮輔・美穂 小野田
下河邊 彰 人 男 聡・逸美 権現堂
酒井 あかり 女 哲矢・美枝 藤橋
宮原 一 心 男 英徳・萌心 谷津田
遠藤 咲 花 女 翔太・成美 高瀬

### お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名 年齢 住所

#### 9月

久田 五郎 89歳 川添
鈴木 旭 94歳 権現堂
志賀 晴信 88歳 西台
平本 ヒメノ 92歳 立野
瀬賀 タケヨ 90歳 津島
戸川 芳隆 72歳 権現堂
志賀 子ヨ子 93歳 田尻
遠藤 裕 88歳 北幾世橋
佐藤 ちか 64歳 立野
佐藤 喜久衛 63歳 権現堂
大井 信雄 82歳 北幾世橋
泉田 政勝 92歳 北幾世橋
豊永 シメ子 95歳 川添
今野 イサ 98歳 赤宇木
山本 正義 83歳 室原
南 文江 65歳 川添
山田 留八 97歳 井手

## 避難区域内の ゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	9月16日	小野田取水場	不検出
		苧野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムを持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）としての性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎復旧事業課上下水道係 ☎0240(34)0234



## 食品の放射能簡易分析結果

町は、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

### ■9月の分析結果（上竹倉庫受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	26	0	まつたけ
山菜、きのこ類	27	18	
米（新米）	2	0	栗
魚	0	0	
その他	11	3	
水（井戸水・湧水等）	0	0	
合計	66	21	

### ■9月の分析結果（浪江町役場本庁舎受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	6	0	まつたけ
山菜、きのこ類	2	2	
米（新米）	0	0	ゆず
魚	0	0	
その他	5	2	
水（井戸水・湧水等）	1	0	
合計	14	4	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）  
 ●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg  
 ●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品……50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は避難指示解除準備区域および居住制限区域のものを受け付けています。

食品の簡易測定は、随時受け付けています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎申・問 上竹倉庫事務所 ☎0243(23)4774

## 町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会が町内92か所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。

\*原子力規制委員会放射線モニタリング情報 ☎http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/

(単位: μSv/h)

地区	測定地点	10月1日	10月15日
浪江	旧法務局	0.29	0.24
	浪江町役場	0.11	0.10
	権現堂集会所	0.45	0.41
	新町ふれあい広場	0.36	0.34
	浪江消防署	0.23	0.21
	請戸川土地改良区	0.34	0.33
	浪江小学校	0.55	0.48
	JR浪江駅前	0.69	0.67
	ふれあいセンター	0.94	0.90
	中央公園	0.52	0.49
	双葉地方森林組合浪江事業所	0.84	0.80
	国玉神社	4.22	4.07
	上ノ原配水場近傍	2.84	2.79
	川添葉山会館	2.29	2.16
	浪江中学校	4.07	3.82
	南上ノ原町営住宅	2.13	2.07
	中上ノ原町営住宅	2.18	2.05
	しらうめ荘	1.03	0.98
	樋渡牛渡集会所	2.59	2.45
	高瀬浄化センター	0.29	0.24
丈六公園	2.34	2.18	
高瀬多目的集会所	0.50	0.45	
佐屋前公民館	1.56	1.57	
浪江東中学校	0.22	0.19	
幾内中継ポンプ場	0.35	0.29	
幾世橋集会所	0.17	0.16	
幾世橋消防屯所	0.25	0.26	
百間沢集会所	0.28	0.29	
幾世橋小学校	0.20	0.19	
浪江町公民館幾世橋分館	0.12	0.12	
浪江浄化センター	0.34	0.31	
大字棚塩字北棚地内	0.22	0.20	
棚塩霊園	0.15	0.15	
北棚塩総合集会所	0.12	0.11	
マリパーク	0.21	0.18	
棚塩集会所	0.09	0.07	
大平山避難場所	0.34	0.30	
浜街道高瀬街道交差点付近	0.19	0.13	
浜街道境松付近	0.29	0.25	
大字請戸集会所	0.07	0.06	
小丸多目的集会所	15.86	15.31	
やすらぎ荘	14.55	13.74	
井手多目的研修センター	4.93	4.61	
末森中継ポンプ場	2.71	2.54	
末森集会所	3.51	3.33	
アクセスホームさくら	1.72	1.64	
大堀	田末消防屯所	2.17	2.00
	田尻集会所	1.09	1.01
	陶芸の杜おおぼり	6.40	6.07
	大堀総合グラウンド	1.73	1.55
	大堀小学校	2.43	2.33
	小野田集会所	1.39	1.31
	谷津田集会所	0.72	0.65
	大字谷津田字乱塔前地内	1.63	1.56
	谷津田取水場入口	0.87	0.81
	酒井集会所	2.32	2.15
	室原田子平墓地	0.75	0.71
	室原北向集会所	2.67	2.57
	室原上組集会所	4.26	3.99
	家老集会所	5.23	4.83
	室原公民館	2.75	2.54
	上立野公民館	2.08	1.95
	苧野配水場	2.01	1.95
	立野中多目的集会所	2.53	2.34
	下立野消防屯所	2.20	2.00
	浪江公民館苧野分館	2.98	2.78
苧野小学校	2.92	2.73	
苧野公民館	1.70	1.59	
加倉運動公園	3.36	3.16	
福島県浪江ひまわり荘	1.96	1.89	
加倉集会所	1.72	1.62	
酒田集会所	0.55	0.54	
浪江高等学校	0.31	0.31	
西台消防屯所	0.27	0.26	
藤橋消防屯所	0.45	0.43	
大柿ダム管理事務所	1.41	1.38	
羽附集会所	0.50	0.46	
大字津島集会所	1.50	1.43	
浪江町立津島小学校	2.82	2.70	
浪江町立津島中学校	1.35	1.29	
福島県立浪江高等学校津島校	6.39	6.22	
下津島集会所	3.16	3.01	
大字下津島字大和久地内	6.51	6.27	
津島活性化センター	0.68	0.64	
南津島上集会所	3.36	3.14	
南下コミュニティセンター	3.61	3.48	
赤宇木集会所	6.10	5.82	
葛久保集会所	6.11	5.79	
手七郎集会所	6.02	5.70	
大柿簡易郵便局(葛尾村営バス停脇)	9.19	8.75	
昼曽根消防屯所	7.97	7.49	
沢先集会所	2.45	2.31	
津島	加倉ローソン付近	2.49	
	藤橋字善明地内	0.21	
	藤橋不動尊前	0.29	
	津島字水境地内	1.50	
	津島字仲野作地内	3.75	
	津島字谷津地内	3.09	
	上津島消防屯所	1.73	
	浪江町役場津島支所	3.59	
	赤宇木字柗平地内	8.56	
	昼曽根字尺石地内	7.85	

☎帰町準備室危機防災係 ☎0240(34)0229

## 町内空間線量測定結果

上記モニタリングポストが設置されていない箇所の空間線量測定結果をお知らせします。

シンチレーション式サーベイメータにより、地上1m地点の測定値を掲載しています。

(単位: μSv/h)

地区	測定地点	測定値	地区	測定地点	測定値
浪江	新町セブンイレブン付近	0.37	大堀	小丸字赤下地内	2.78
	常磐線陸橋東側	1.17		小丸字三程地内	0.91
	常磐線陸橋西側	1.86		畑川集会所	1.11
	川添字小丸田地内	2.78		立野字根渡地内	1.68
幾世橋	国道6号高瀬交差点付近	0.13	苧野	酒田町営住宅	0.55
	高瀬字小高瀬迫地内	0.56		国道114号仙人沢トンネル南側	4.76
	貴布祢	0.24		室原字小萱地内	1.90
	北幾世橋字町尻地内	0.35		室原字堀知木地内	1.77
請戸	北幾世橋字荒井前地内	0.18	加倉ファミリーマート付近	2.24	
	棚塩字弥平迫地内	0.12			
	請戸橋南側	0.17			
	請戸漁港	0.17			

\*測定日は平成26年10月2・3日です。

## 有料広告募集

☎復興推進課情報統計係 ☎0243(62)4731

全国に避難している町民の皆さんへ発送している広報誌は、皆さんの目に触れる機会が多く、高い宣伝効果が期待できます。

### ■募集期間

※枠に空きがある場合は随時受け付けます。

### ■掲載場所

- 各ページ（表紙除く）の下段（1色刷り）
- 最終ページ（4色刷り）※現在空き無し

### ■申込方法

申請書に必要書類を添えてお申込みください。  
 ※申請書が必要な方は、郵送しますのでご連絡ください。町ホームページからもダウンロードできます。

### ■広告の大きさ

1枠 縦47mm × 横88mm

広報紙1号につき2枠まで（最終ページは4枠まで）掲載できます。

区分	広告掲載料（広報紙1号あたり）	
	1色刷り	4色刷り
●平成23年3月11日において、町内に事務所または営業所を置いていて、東日本大震災後事業を再開したもの。 ●浪江町に住所を有し（東日本大震災以降住所を有さなくなったものを含む）、東日本大震災後に新たに事業を開始したものおよび復興に寄与する事業を営むもの。	5,000円	10,000円
●上記以外のもの	10,000円	20,000円

↑これが1枠の寸寸サイズです。



## 畑中 武さん・ヤイさん(中浜)

取材者：浪江町役場 舛田・中川  
取材日：10月2日

### 今も浪江の夢を見る。でも前を向いて生きよう。

浪江に生まれ育って80年。畑中さんは人生で二度、家をなくされました。一度目は先の大戦での空襲。そして東日本大震災。息子さん夫婦と3人のお孫さんに囲まれ、幸せな暮らしを送っていた中浜の自宅は、津波にさらわれました。一度はバラバラになったご一家ですが、現在はいわき市に新築されたご自宅で、再び皆さん一緒に平穏な暮らしを取り戻しておられます。



▲仲睦まじい畑中さんご夫婦です

■大切なのは命と人の情け  
震災当日、家族7人はみな違う場所にいましたが、奇跡的に全員が無事でした。私と妻は、地震のあと一度自宅に戻り、テレビで津波警報を知ったのです。到達まであと10分。「逃げろ！」と叫びました。別の場所にいた息子は、バックミラーで津波が追いかけてくるのを見ながら必死で逃げ、間一髪で山の斜面をよじ登って助かりました。  
そんな経験を経て思うことは、まず一番大事なのは命。そして次に大切なのは、人情です。その後の生活では、本当に人の情けに助けられました。

震災の翌日、私たちは会津に向かいました。息子の大学時代の同級生が会津にいて、呼び寄せてくれたのです。避難所で朝一杯の粥だけ飲み、70キロの道のりを自分で運転していったのですが、到着後は疲労困憊で倒れてしまいました。救急車で搬送されましたが、幸い事なきを得ました。  
会津では、そのご一家に大変よくしていただき、3週間ほどお世話になりました。3月末に東京に住む娘が迎えに来てくれて、そこから2年ほど、東京都江戸川区の住民となりました。地元の人に入ると、旅行にいったり、いろいろな活動に参加しました。そこで知り合った方に手作りの仏像をいただき、その話が新聞に大きく載ったこともあります。ほかに、私は自作の紙芝居で子供たちに昔話をきかせたり、もちろん大震災の話もしました。昨年2月に東京を去るときは、送別会まで開いてくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

■戻らない、でもつながりたい  
今のいわきでの暮らしは幸せです。浪江には帰る家がないし、あの一带はもう人が住めない場所になってしまった。戻るつもりはありませんが、でも骨を埋めるのは、やはり故郷の浪江なんです。だから大平山に新しくできる共同墓地に、墓を作ることになりました。墓碑銘は「ありがとう」。お参りにきてくれてありがとう、生んでくれてありがとう、その二つの気持ちが合わさる場所になるように。そして裏面には、子孫のための記録として東日本大震災で中浜の家屋が流出したことを記し、「このようになことが二度とないように。合掌」と刻印しました。  
私は若いころから山登りが趣味で、76才のとき富士山登頂も果たしています。だから足腰は丈夫なはずですが、東京に引越したころ、どうにも足が震えて歩けなくなることがあります。でも「こんなところで死んでたまるか」と気持ちを奮い立たせ、50歩から始めて最後は7、000歩まで歩けるようになりました。  
医者に言われたのは、「気持ちをおだやかに持ちなさい」ということ。今でも浪江の夢を見ますし、東電への怒りはもちろんあります。でも起きてしまったことはどうにもならない。「前を向いて生きる」。これに尽きます。私の人生に悔いはありません。

# 浪江のころ通信

・第41号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のころ通信」が編集・発行されます。

浪江のころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

## 再取材シリーズ 再会・浪江のころ

これまで取材を受けていただいた皆さんに、再度の取材を行うコーナーです。

3・11から3年以上が経過した今、感じていること、伝えたいこと、そして最初の取材以降の気持ちの変化やふるさとへの思いなど皆さんの声をお届けします。

「浪江のころ通信／第41号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地  
「浪江のころ通信」宛  
FAX.0243(22)4218





## 八幡万里子さん(室原)

取材者：NPO法人まちなか研究所わくわく 宮道・下地  
取材日：10月1日

### 夢は福島に戻って「琉球かすり」を 広めること

2011年3月末にご夫婦で沖縄に避難された万里子さん。避難してすぐに出会った沖縄の織物である「琉球かすり」織りを、現在も続けていらっしゃいます。「沖縄には娘夫婦もいて、かすり織りができて生活に不満はないけれど、ふるさと浪江への思いは消えません。気持ちは悶々としています」と話します。



▲ご自身で織った「裂織」  
作品と一緒に



▲万里子さんが今後チャレンジ  
したい「南風原花織」

■今も続けている「琉球かすり」  
織り

沖縄に来て習い始めた「琉球かすり」織りは、今も通って織っています。通常、織りの研修は工房に入りますが、いつ福島に帰るかわからない私の立場を理解していただいている琉球紺事業協会の組合の理事長に「帰りたいからいつでも言ってくれたらいいからね」と言ってもらい、組合に席をおいて織りをさせてもらっています。

■ふるさとを思う気持ちは消えない

今は、福島県に帰りたい気持ち強いですが、友達が恋しい。でも福島県のどこに帰るのか？福島県内で住む場所を探したとしても、ご近所は知らない人ばかりだろうし、そんな不安があります。また、沖縄には娘夫婦、孫もいます。福島に帰ると会えなくなるので、それはさみしい。帰りたいという気持ちがあってもどうしたらいいのかな…。

■今は夢の途中

沖縄の生活は幸せで、特に不平不満があるわけではないけれど、望郷の念だけはどうにもありません。悶々とした気持ちはありますが、「琉球かすり」織りをやっているときは、この悩みから解放されます。いつかは、福島に戻って「琉球かすり」織りを続けたいという夢があります。誰に頼まれたわけではないけれど、「琉球かすり」織りをやっているのは私の使命かと思っています。福島県内に家を建てて機織りしながら、「琉球かすり」を広めていき、また沖縄にあるたくさんの方に夢を伝えたいです。今は夢の途中。夢を叶えられるようにがんばりたいです。



## 鈴木 悦夫さん・良美さん(田尻)

取材者：コミュニティ・ワークス 青木  
取材日：10月9日

### 四季の移ろいを楽しみながら、 元気で長生き！



▲「ここまでできたら長生きしないとね」という良美さんのとなりで、にっこり微笑む悦夫さん。

実家のある平泉で暮しはじめて3年7か月。「今年ぐらいからやっと落ち着いてきた感じがする」と時間の経過とともに変化してきたお気持ちをふりかえり、ご家族やご近所の方とのお付き合いを大切にしながら、またその存在のありがたさを実感する日々。目の前には金鶏山、その麓に広がる四季折々の表情に癒されて、お二人とも楽しみながら暮らしておられます。

■懐かしい浪江

良美さん 平泉へ来たのは、震災があつて3日か4日後でした。地震の後に家の片付けをしていると、原発のことで無線連絡があり、どこでもいいから逃げてくれたらいいから腰が悪かったので、床に座れる状態ではありませんでした。避難所に行っても迷惑かけられることになるので、実家に連絡をとりました。こちらに来ることにしました。顔を見られて安心したようでした。今では文句を言い合いますが、近くにいるありがたさを実感しています。今住んでいるところは眺めがよく、毎日自然の移り変わりを

■いまはいつか、のんびりと

悦夫さん そもそも浪江で暮らすようになったのは仕事がかつかけでした。盛岡の警備会社で勤めて、その現場が福島原発でした。最初は大熊で暮らして

■いまはいつか、のんびりと



▲庭先から一望できる金鶏山

楽しんでいきます。朝は北上川から雲がかかって山が浮かんでいるように見え、夜空も綺麗です。そう、ちょうど皆既月食も見ましたよ。主人がカメラで撮っていました。夏は前沢の花火、お盆には金鶏山の大火、これからの季節は紅葉も楽しめますね。冬は金鶏山や手前の田んぼの雪景色もとっても綺麗で、景色がほんとに変わります。風も入って気持ちがいいのですが、夏、蝉の音がうるさすぎるのが難点かしらね(笑)。こちらに来た頃は言葉もただどしく、よそ行きの言葉を使っていました。今ではだいぶこちらの生活に慣れました。「みなさん平泉にいらっしゃい来てください！」って、観光客を迎える側の気持ちで、もう地元気分です。町からの通信を見たり、テレビに出ていた町長さんを見たりすると、懐かしいと思いますね。「浪江」って聞くと耳がピツと反応しますね。

ました。4、5年経って浪江に越してお世話になるようになります。家を構えました。やっと家も支払いが終わって、これからのんびりしようという矢先に、あんなことになっちゃってね。

震災の時は、別の会社に勤めていたので相馬で仕事をしました。私は津島の避難所に一晩いて、翌朝家に帰ってきたら、おつかあが帰っていたんです。大熊の務め先から6時間かけて、家に戻ったそうです。どこに行ったのか心配で、会えるまでは不安でした。

その後車で平泉に避難して、今に至ります。ここから車で5、6分位のところに実家があるので、今ではよく行き来してみんなで食べたり飲んだりしています。ここは温泉があつていいですね。

ソフトボールチーム「浪江大吉SSB」

富沢 和正さん(権現堂)・木幡 健一さん(赤宇木)  
平田 邦之さん(権現堂)・熊谷 徹さん(高瀬)



山形県

取材者：NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル 柴田  
取材日：10月5日

ありがとう高島 4年目の感謝を込めて  
～つながった絆をこれからも大切にします～

「ナイスピッチング！」浪江大吉SSBチームの活気のある掛け声が、今年も山形県高島町のグラウンドに響きました。チームの代表・松崎光平さんらが山形県高島町に避難し、やきとり大吉高島店店長の伊藤さんと出会ったことがきっかけで、高島町総合体育大会ソフトボール種目に出場するようになってから4年目です。「震災当時後押ししてくれた高島町の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです」と、松崎さんとキャプテンの小松山さんは話してくださいました。今回は出場したメンバーの皆さんにお話を伺ってきました。



▲今年は惜しくも準優勝



▲声を掛けマウンドへ

と思っと思っています。とりあえずは毎日を精一杯に過ごすというところが今できることですね。あとは、毎年この大会に出させてもらい参加するだけでなく、何

か高島の皆さんに恩返ししなきゃなと思っっています。まだそこまでは考えられてない状況ですね。きっかけがあれば戻りたいなという気持ちはありますけれども、この時期は津島の紅葉はともきれいだっただけを思い出します。また見たいですね。

メンバーは家族のように、もう近くにいたのが当たり前のような存在です。こうして毎年集まれるというのは嬉しいし、こうした機会を大切にしながら、これからも参加していきたいなと思っっています。

木幡 就職と同時に南相馬市に出生した。実家は津島なので、今も線量が高くて入れない場所です。悔しい気持ちはあります。熊谷君とは高校の同級生で、近くの熊谷君の家によく遊びに行っていました。いつかまた皆で浪江町で飲みたいですね。皆さんいろいろ苦労して今過ごしていると思っますが、前向きに頑張りましょうとしか言えないです。ぜひまた皆さんと浪江町で試合をしたいです！



▲お話を伺った皆さん  
左から、平田邦之さん、富沢和正さん、木幡健一さん、熊谷徹さん

◆チームへの想い、この大会への想い

富沢 この大会に出場するのは3回目です。今叔母が高島に暮らしており、一時的に叔母もこちらに避難していました。代表をやっている光平や祖母と、震災後再会したのもここ高島でした。こうして身近な人間がお世話になった所で、こういう機会を与えてもらっていることは大変ありがたい話で、なにか縁があるんだなと思っます。この話をすると震災当時を思い出しますね。年に数回ですが、集まれ

木幡 夜勤明けだったので、この大会を楽しみに来ましたが、今は、南相馬市に住んでいますが、まだお店も再開してないです。楽しみがなく息抜きできる場もないので、こうやって皆でソフトボールができることは、リフレッシュできるので非常に楽しみにしていました。私にとってチームのメンバーは皆兄のような存在です。家族のような感じですね。メンバー皆にお世話になり感謝しています。

平田 私は毎年申し訳ないなというか、ありがたいなという気持ちで出させていだいてます。皆ばらばらになつてしまった中で、まさかまた町村大会が再開できると思っっていたので再開した時は嬉しかったですね。個人個人で会ったりはしていますが、メンバーに会えるのは町村大会とこの高島大会くらい。皆と会えることは本当に嬉しいですね。

熊谷 震災当時はばらばらに避難し、また皆と集まり試合ができた時の嬉しさは半端なかったですね。今日も関東の方からこの大会のために来ているメンバーも何かいます。この大会に参加させていただいているのも震災後からのきっかけで、こうしてまた毎年誘っていただける。この場がなければ皆が集まれる機会はないので、本当に高島の皆さんには感謝しながら、毎年、秋口のこの日を楽しみにしています。

◆これからの暮らしや進み方について

富沢 今は仙台市で仕事をしており、ひとまず定年までは仙台でと考えています。私は、定年になったら浪江に帰りたいなと思っっています。その頃には町も落ち着くのではないかなとは思っているんですけど、まあそれが一つの夢ですね。そしたらまた浪江でまた皆とソフトボールしたいですね。

平田 今は相馬市に暮らしています。震災後は、群馬県館林市にいて、昨年相馬市に引っ越ししました。先のことはまだわからないので、まだ決められない

き、誠に有難うございます。今年も、皆さんの元気な姿を拜見し、ほっとしているところです。十分な練習時間もとれないなか、松崎代表を中心としたチームとしてのポテンシャルの高さと、久しぶりに会った友人のように気さくに接して下さる皆さんの人間としての魅力を毎回毎回、優しく感じております。ユニホームを新調されドレスアップされた『新生・浪江大吉SSBチーム』を、来年も心よりお待ち申し上げます。

●山形県議会議員（総合体育大会副実行委員長）  
島津良平さん

全国に散らばった方々が集まり、高島で試合していただけたということは私たちも大変嬉しいことです。町長杯も復活したということで、高島の大会が活気を取り戻すきっかけになったのなと思っっています。今年は交流のために芋煮会も行います。これからも町としてできることをしていきたいと思っます。また来年も元氣にお会いしたいですね。

●浪江町復興支援員山形駐在  
佐藤眞敏さん、小松原慶子さん、渡邊健太さん

ソフトボール競技は浪江町を挙げて盛んなスポーツで、歴史があります。チームの皆さん鍛えられており、これまで練習してきた成果がわかりました。個々のプレーがどのチームよりも勝っているし、活気がある素晴らしいチームでした！

お世話になっっている方からコメントをいただきました！



左から、高島町ソフトボール協会会長 高橋さん、山形県議会議員 島津さん、副会長 菅野さん



浪江町復興支援員山形駐在小松原さん、佐藤さん、渡邊さん

●高島町ソフトボール協会  
会長 高橋英助さん、副会長 菅野康雄さん

高島町の協会としては、参加していただくのが当たり前のようになっており、「今年も来ていただきありがとうございます」という気持ちです。浪江チームは、動きも速いし元気もいい！この日だけでも一日楽しんでいただきたいと思っっています。これからも交流していきたいですね。また来年も会いましょう。待っています。

●やきとり大吉高島店 店長 伊藤健彦さん

Welcome.まほろばの里・高島町へ、ようこそ。4年連続、高島町ソフトボール大会にご参加頂

## 連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所  
〒964-0984  
二本松市北トロミ 573 番地  
TEL 0243(62)0123 FAX 0243(22)4261
- 浪江町役場本庁舎（復興再生事務所）  
〒979-1592  
双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田 7-2  
TEL 0240(34)2111
- 福島出張所  
〒960-8601  
福島市五老内町 3 番 1 号  
（福島市役所 9 階西側）  
TEL 024(535)0750 FAX 024(535)0753
- 本宮出張所  
〒969-1203  
本宮市白岩字堤崎 494 番地 22  
（本宮市役所白沢総合支所 1 階）  
TEL 0243(44)1185・1186  
FAX 0243(44)1187
- 桑折出張所  
〒969-1611  
伊達郡桑折町字東大隅 18 番地  
（桑折町役場 2 階）  
TEL 024(582)2130 FAX 024(582)2135
- いわき出張所  
〒970-8026  
いわき市平字堂根町 1 番地の 4  
（いわき市文化センター 2 階第 4 会議室）  
TEL 0246(24)0020 FAX 0246(24)0026
- 南相馬出張所  
〒975-0039  
南相馬市原町区青葉町 2-62-2  
TEL 0244(23)1112 FAX 0244(23)1114
- 浪江町議会事務局  
〒964-0984  
二本松市北トロミ 573 番地  
TEL 0243(62)0196 FAX 0243(22)4231
- 浪江町教育委員会  
〒964-0984  
二本松市北トロミ 573 番地  
TEL 0243(62)0301 FAX 0243(22)4223
- 浪江町社会福祉協議会  
〒964-0984  
二本松市北トロミ 520 番地  
TEL 0243(62)0877 FAX 0243(23)7970
- 仮設津島診療所  
〒969-1404  
二本松市油井字長谷堂 230 番地  
TEL 0243(24)1431

ここからは広告です。



## 株式会社 双葉不動産 — 住まいの「夢」かなえます —

皆さまの住宅再建のお手伝いをさせていただきます。  
不動産に関するご相談は弊社にお任せください。

郡山支店



うねめ通り  
内環状線  
双葉不動産  
★ 安積黎明高校  
さくら通り

郡山市長者三丁目 4-1  
武田ビル 1 階  
TEL 024-953-5777  
FAX 024-953-5778

南相馬支店



セブンイレブン  
★ 双葉不動産  
ホテル西山  
ラファイヌ

南相馬市原町区旭町  
二丁目 2-2  
TEL 0244-26-5175  
FAX 0244-26-5177

レオパレスパートナーズ福島相双店



セブンイレブン  
★ レオパレスパートナーズ  
ホテル西山  
ラファイヌ

南相馬市原町区旭町  
二丁目 2-2  
TEL 0244-26-5180  
FAX 0244-26-5182



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地  
TEL 0243(62)0123(代表) FAX 0243(22)4218  
<http://www.town.namie.fukushima.jp>

